

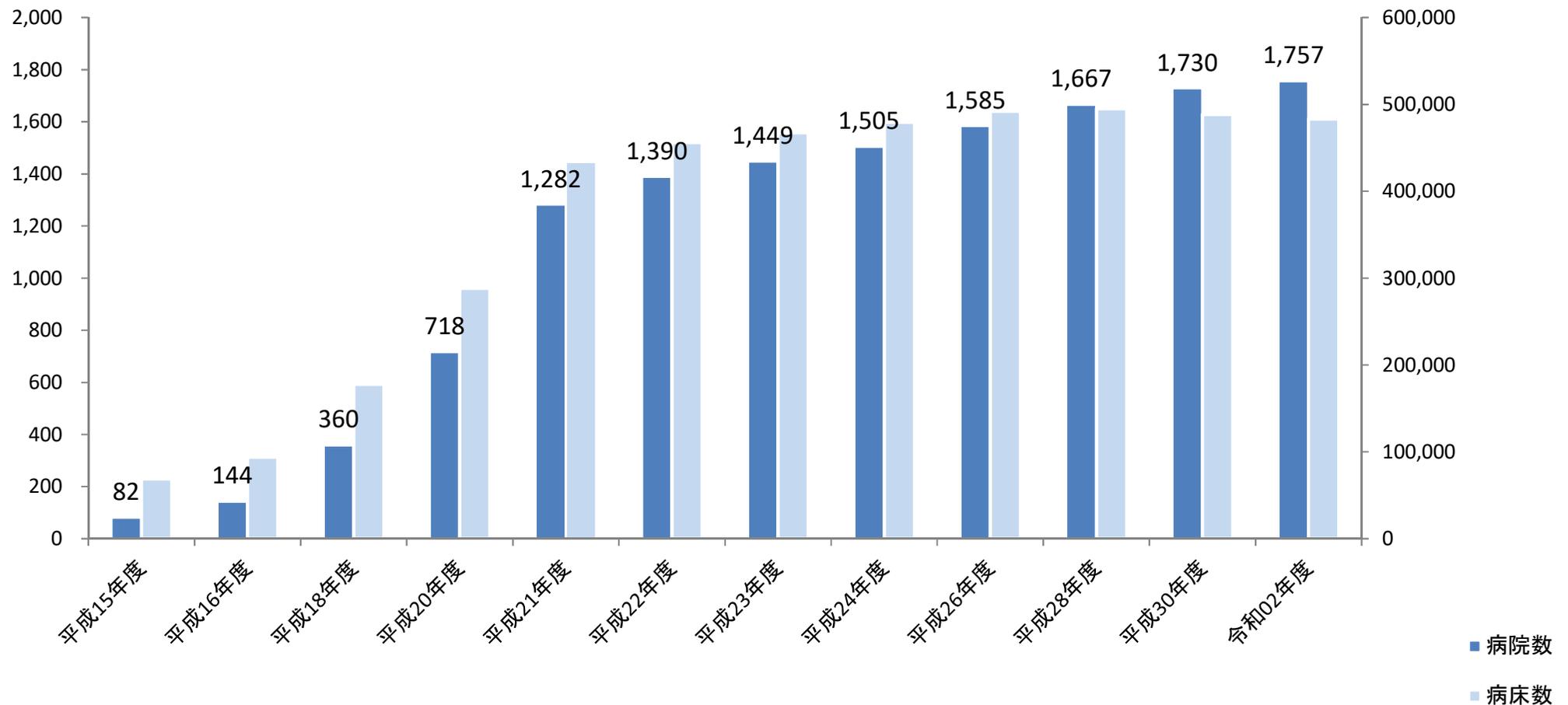
# DPC対象病院数

中医協 総 - 3 - 2  
2 . 6 . 1 7

- DPC対象病院は、前回改定時以降、36病院が参加、6病院が退出(※)し、令和2年4月1日時点では、1,757病院となった。

※ 前回改定時以降、合併により、医療機関数としては、退出した6病院の他に3病院が減。

- DPC準備病院は、令和2年度に31病院が新たに参加し、令和2年度4月1日時点では、249病院となった。



# 診断群分類点数表の見直し

- 診断群分類の見直しを行い、診断群分類数等を以下の通り設定した。

	MDC数※1	傷病名数	診断群分類数	包括対象※2	支払い分類※3
平成15年4月	16	575	2,552	1,860	
平成16年4月	16	591	3,074	1,726	
平成18年4月	16	516	2,347	1,438	
平成20年4月	18	506	2,451	1,572	
平成22年4月	18	507	2,658	1,880	
平成24年4月	18	516	2,927	2,241	
平成26年4月	18	504	2,873	2,309	
平成28年4月	18	506	4,918	4,244	2,410
平成30年4月	18	505	4,955	4,296	2,462
令和2年4月	18	502	4,557	3,990	2,260

※1 MDC : Major Diagnostic Category 主要診断群

※2 包括対象となるDPC数

※3 CCPマトリックスを導入した分類は、複数の診断群分類が同一の支払い分類となる。

# DPC/PDPSの見直し(概要)

## ➤ 医療機関別係数

平成30年度診療報酬改定において暫定調整係数の置き換えが完了し、医療機関別係数は基礎係数、機能評価係数Ⅰ、Ⅱ及び激変緩和係数の4項目となった。令和2年度診療報酬改定においては、基礎係数、機能評価係数Ⅰは従来の考え方を踏襲し、診療報酬改定を踏まえた見直しを行う。機能評価係数Ⅱについては、評価の実態等を踏まえ項目を見直す。

1. **基礎係数(医療機関群)**: 現行の3つの医療機関群の設定方法と、4つの評価基準(DPC特定病院群)を継続する。
2. **機能評価係数Ⅰ**: 従前の評価手法を継続する。
3. **機能評価係数Ⅱ**: 地域医療指数(体制評価指数)について、以下の見直しを行う。

### 現行

[地域医療指数の評価項目]

#### ◆ 治験等の実施

- ・10件以上の医師主導治験の実施、10例以上の先進医療の実施、及び1例以上の患者申出療養に係る意見書の作成
- ・20例以上の治験の実施、10例以上の先進医療の実施または10例以上の患者申出療養の実施



### 改定後

[地域医療指数の評価項目]

#### ◆ 治験等の実施

- ・過去3カ年において、主導的に実施した医師主導治験が8件以上、又は主導的に実施した医師主導治験が4件以上かつ主導的に実施した臨床研究実績が40件以上
- ・20例以上の治験の実施、10例以上の先進医療の実施または10例以上の患者申出療養の実施

#### ◆ 新型インフルエンザ対策(新設)

- ・新型インフルエンザ患者入院医療機関に該当

4. **激変緩和係数**: 診療報酬改定に伴う激変緩和に対応した、激変緩和係数を設定(改定年度の1年間のみ)

## ➤ 診療実績等を踏まえた診断群分類点数表等の見直し

直近の診療実績データや医科点数表の改定を踏まえ、診断群分類点数表等の見直しを行う。

## ➤ DPC/PDPSの安定的な運用

急性期の医療の標準化という観点とDPC/PDPSになじまない可能性のある病院の診療内容を分析するため、医療資源投入量等の指標について検討するとともに、書面調査やヒアリング等を通じて診療内容の実態についての分析を引き続き行う。

# 医療機関別係数の対応

## 基礎係数(医療機関群)

- 現行の設定方法を維持し、医療機関群等を設定する。
- 実績要件について、大学病院本院群の最低値(外れ値を除く)より高い医療機関をDPC特定病院群とする。
  - ※ 診療密度は、外的要因の補正のため、後発医薬品のある医薬品については後発医薬品の最も安価なものに置き換えて算出
  - ※ 外保連手術指数及び特定内科診療の内容は最新版を反映

医療機関群	施設数	基礎係数
DPC標準病院群	1,519	1.0404
大学病院本院群	82	1.1327
DPC特定病院群	156	1.0708

## 機能評価係数 I

- 現行の評価手法を維持し、医科点数表の改定に応じて機能評価係数 I に反映する。
  - ・ 各項目の評価の見直しに伴う対応
  - ・ 新設の地域医療体制確保加算への対応

## 機能評価係数 II

- 現行の6つの係数(保険診療係数、効率性係数、複雑性係数、カバー率係数、救急医療係数、地域医療係数)を維持し、平成30年10月1日から令和元年9月30日までの実績等を基に設定する。
- 地域医療係数の一部の項目について、評価項目の実態等を踏まえた要件を見直しや項目の新設を実施する。

## 激変緩和係数

- 現行の設定方法を維持し、改定に伴う変動に関して、推計診療報酬変動率(出来高部分も含む)が2%を超えて変動しないよう激変緩和係数を設定する。

# 機能評価係数Ⅱの見直し

- 機能評価係数Ⅱは、DPC/PDPS参加による医療提供体制全体としての効率改善等への取組を評価したものであり、6つの係数(保険診療係数、効率性係数、複雑性係数、カバー率係数、救急医療係数、地域医療係数)を基本的評価軸として評価している。
- 地域医療係数について、以下の見直しを行う。
  - 高度・先進的な医療の提供に関する評価項目について、医療機関の実態を踏まえ要件を見直す。
  - 新型インフルエンザ対策について、評価の対象となる医療機関が明確となったことを踏まえ、評価項目を新設する。

## 各係数の評価の考え方

名称	評価の考え方
保険診療係数	適切なDPCデータの作成、病院情報を公表する取組み、保険診療の質的改善に向けた取組みを評価。
地域医療係数	地域医療への貢献を評価
効率性係数	各医療機関における在院日数短縮の努力を評価
複雑性係数	各医療機関における患者構成の差を1入院あたり点数で評価
カバー率係数	様々な疾患に対応できる総合的な体制について評価
救急医療係数	救急医療の対象となる患者治療に要する資源投入量の乖離を評価

## 係数の設定方法

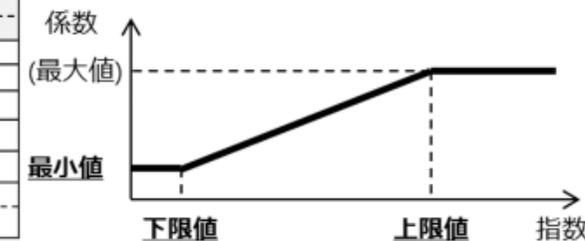
- ・ 相対評価を行うための指数値を設定し、上限下限値の処理等を行って係数値を設定。
- ・ 医療機関群ごとに係数設定するもの(保険診療、複雑性、カバー率、地域医療)と、全医療機関において係数設定するもの(効率性、救急医療)がある。

### 上限値下限値の設定

	指数		係数 最小値
	上限値	下限値	
保険診療	(固定の係数値のため設定なし。)		
効率性	97.5%tile値	2.5%tile値	0
複雑性	97.5%tile値	2.5%tile値	0
カバー率	1.0	0	0
救急医療	97.5%tile値	0	0
地域医療(定量)	1.0	0	0
(体制)	1.0	0	0

項目ごとに上限値下限値を設定

### 指数と係数の関係



上限値以上の全ての医療機関が係数は最大値となる。

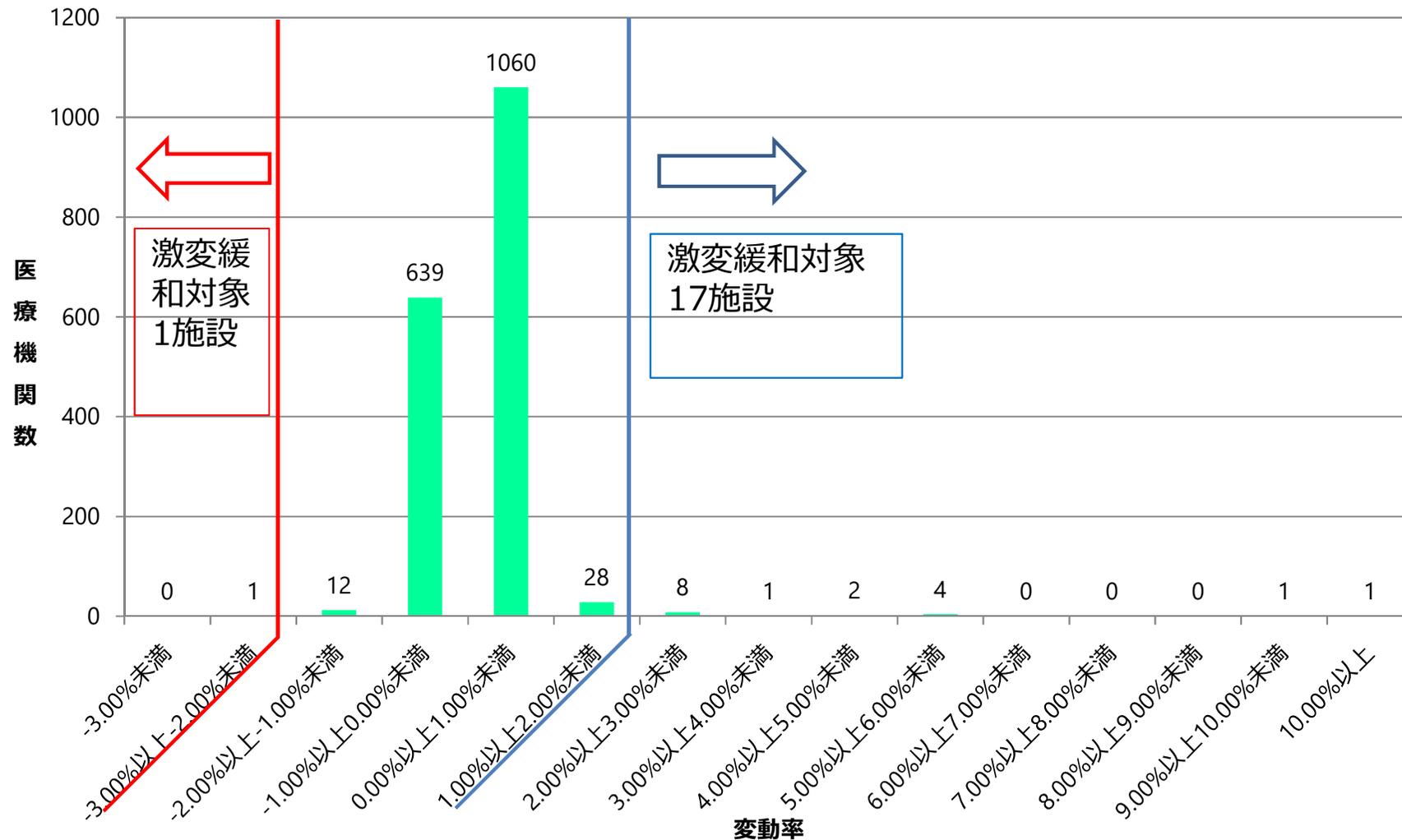
# 機能評価係数Ⅱの分布

係数		最小値	～	最大値	25%tile値	中央値	75%tile値
効率性		0.00000	～	0.03226	0.01052	0.01466	0.01833
救急医療		0.00000	～	0.04781	0.00842	0.0144	0.02046
保険診療	DPC標準病院群	0.01350	～	0.01575	0.01575	0.01575	0.01575
	大学病院本院群	0.01499	～	0.01574	0.01574	0.01574	0.01574
	DPC特定病院群	0.01499	～	0.01574	0.01574	0.01574	0.01574
	合計	0.01350	～	0.01575	0.01575	0.01575	0.01575
複雑性	DPC標準病院群	0.00000	～	0.03763	0.01065	0.01599	0.02215
	大学病院本院群	0.00000	～	0.02754	0.01130	0.01597	0.01909
	DPC特定病院群	0.00000	～	0.03609	0.01047	0.01537	0.01992
	合計	0.00000	～	0.03763	0.01068	0.01584	0.02180
カバー率	DPC標準病院群	0.00050	～	0.04453	0.00448	0.00858	0.01542
	大学病院本院群	0.00820	～	0.02270	0.01220	0.01499	0.01717
	DPC特定病院群	0.00501	～	0.02687	0.01246	0.01496	0.01740
	合計	0.00050	～	0.04453	0.00506	0.0102	0.01617
地域医療	DPC標準病院群	0.00018	～	0.05437	0.00472	0.00825	0.01531
	大学病院本院群	0.00529	～	0.03416	0.01072	0.01446	0.01979
	DPC特定病院群	0.00227	～	0.04083	0.00940	0.01335	0.01992
	合計	0.00018	～	0.05437	0.00507	0.00918	0.01622
合計値	DPC標準病院群	0.0296	～	0.1496	0.06820	0.0828	0.09770
	大学病院本院群	0.0553	～	0.1148	0.08140	0.0875	0.09370
	DPC特定病院群	0.0594	～	0.1436	0.08963	0.09835	0.10750
	合計	0.0296	～	0.1496	0.06990	0.0852	0.09865

# 激変緩和係数

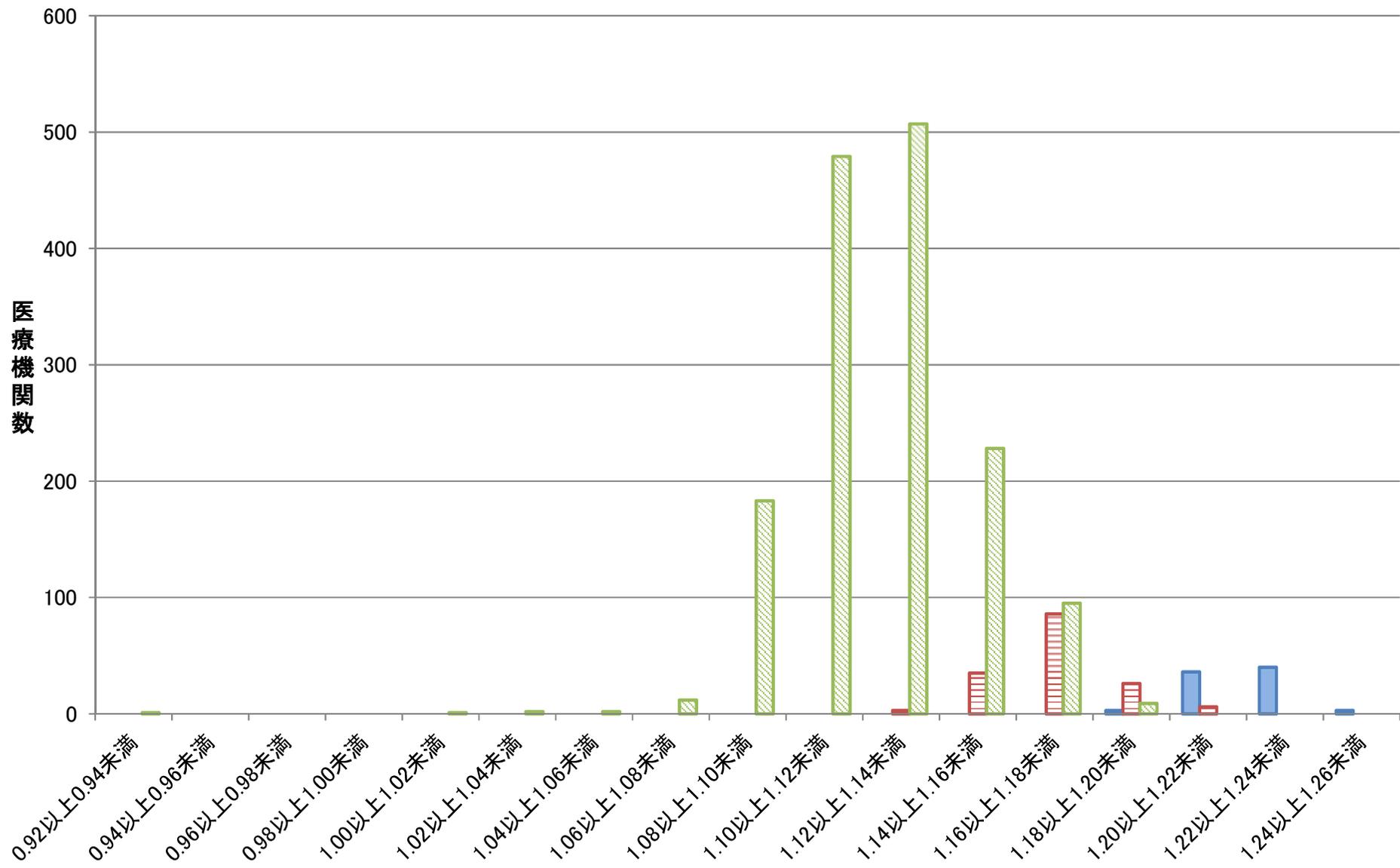
- 令和2年度改定において、推計診療報酬変動率（出来高部分も含む）が2%を超えて変動しないよう激変緩和係数を設定。1施設がマイナス緩和（正の激変緩和係数を設定）、17施設がプラス緩和（負の激変緩和係数を設定）対象。

## 令和2年度改定での推計変動率の分布



# 参考

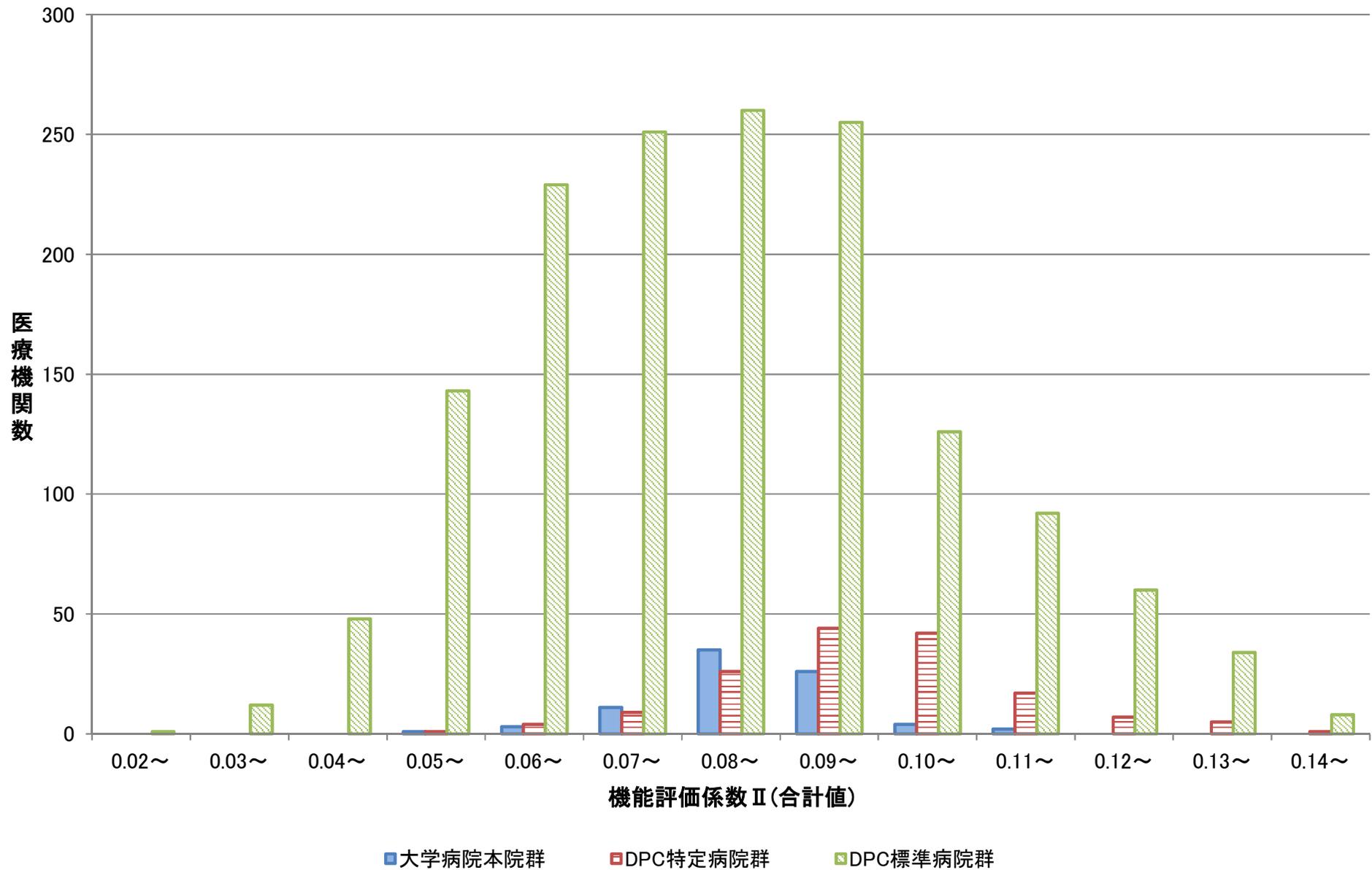
# 医療機関別係数の分布(医療機関群別)



医療機関別係数(機能評価係数 I を除く)=(基礎係数)+(機能評価係数 II)+(激変緩和係数)

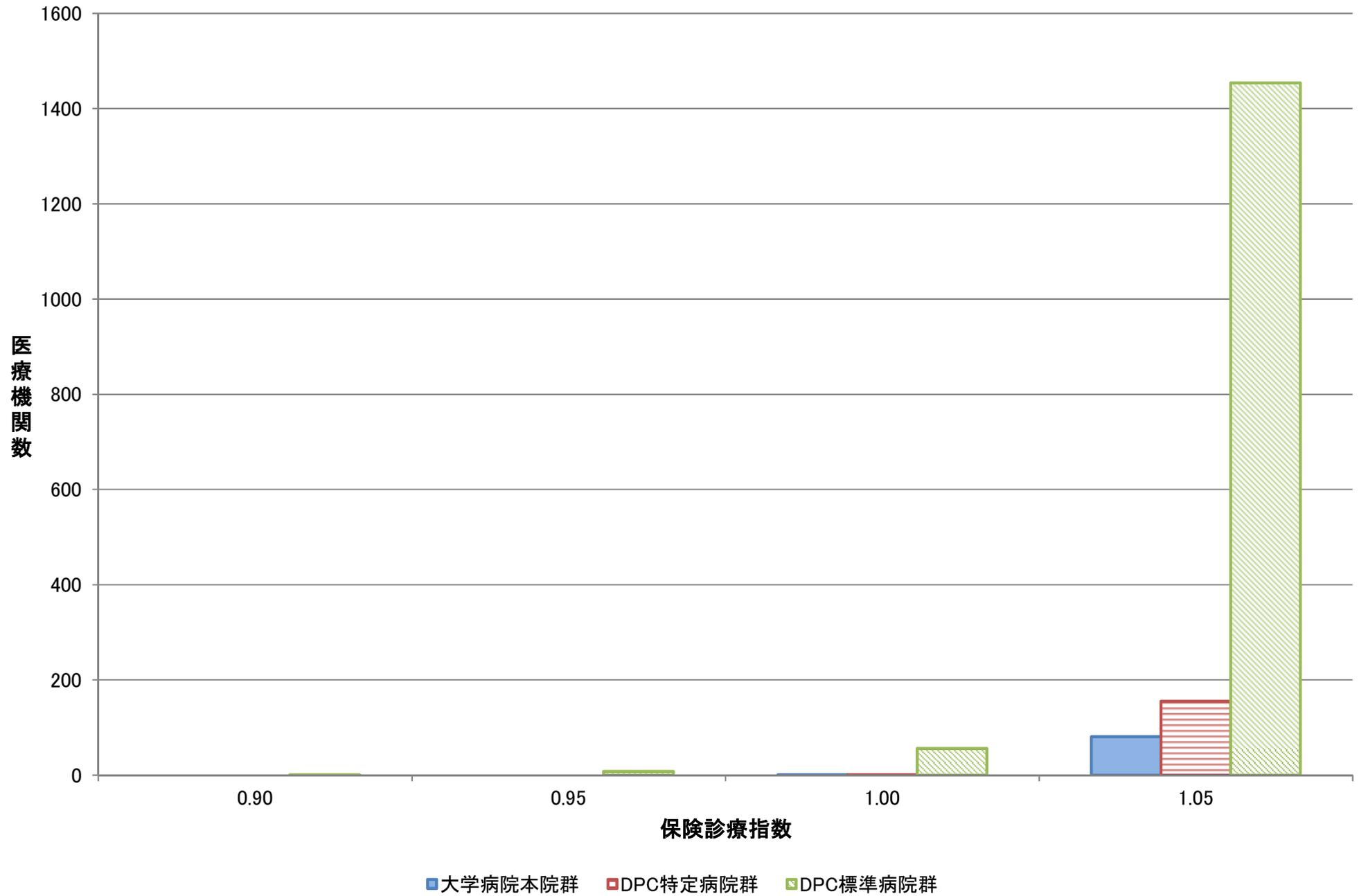
■大学病院本院群 ■DPC特定病院群 ■DPC標準病院群

## 機能評価係数Ⅱの合計(医療機関群別)

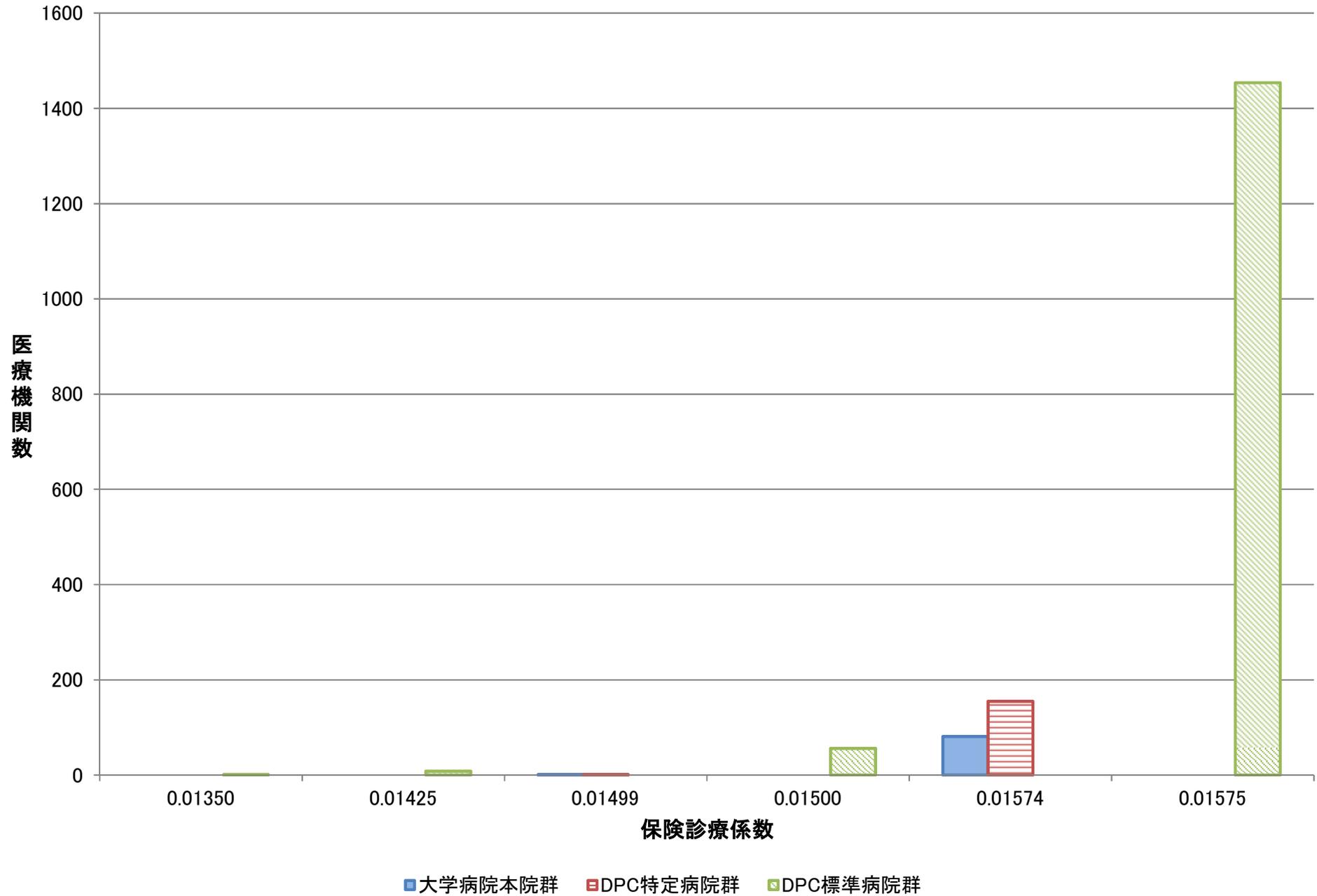


※0.01刻みで「0.04~」は「0.04以上0.05未満の区分」を表す

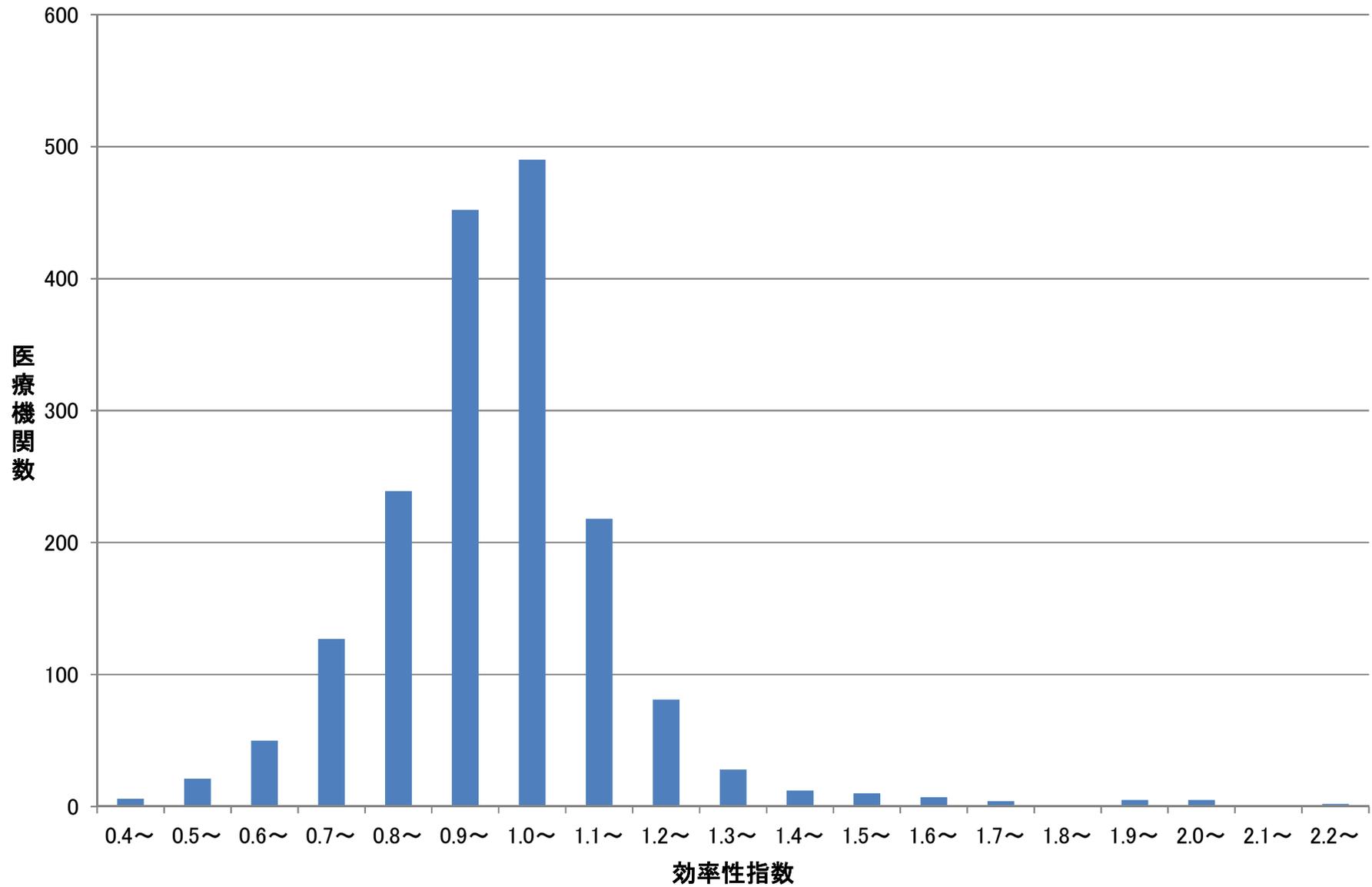
# 保険診療指数の分布(医療機関群別)



# 保険診療係数の分布(医療機関群別)

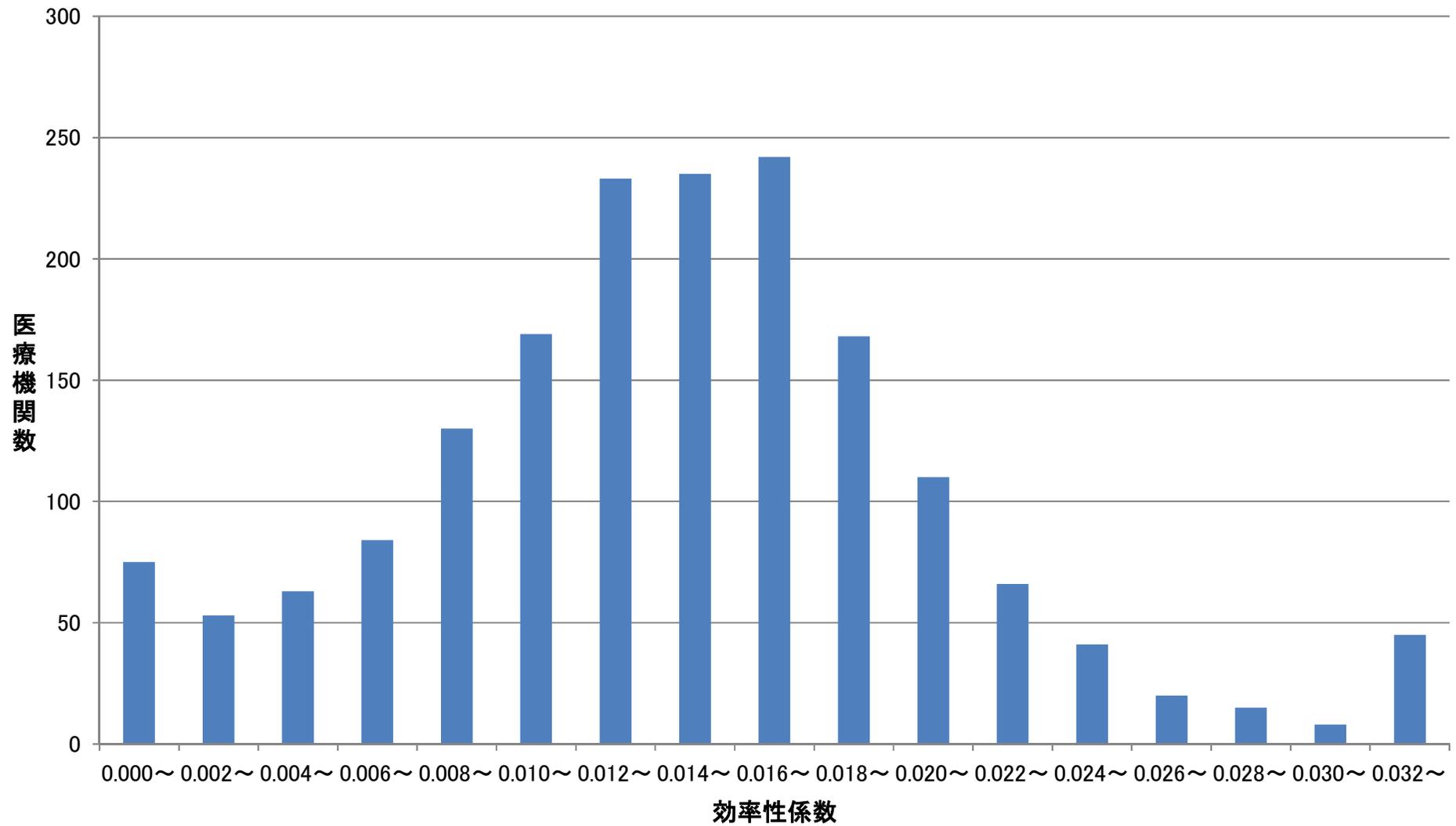


# 効率性指数の分布(全病院)



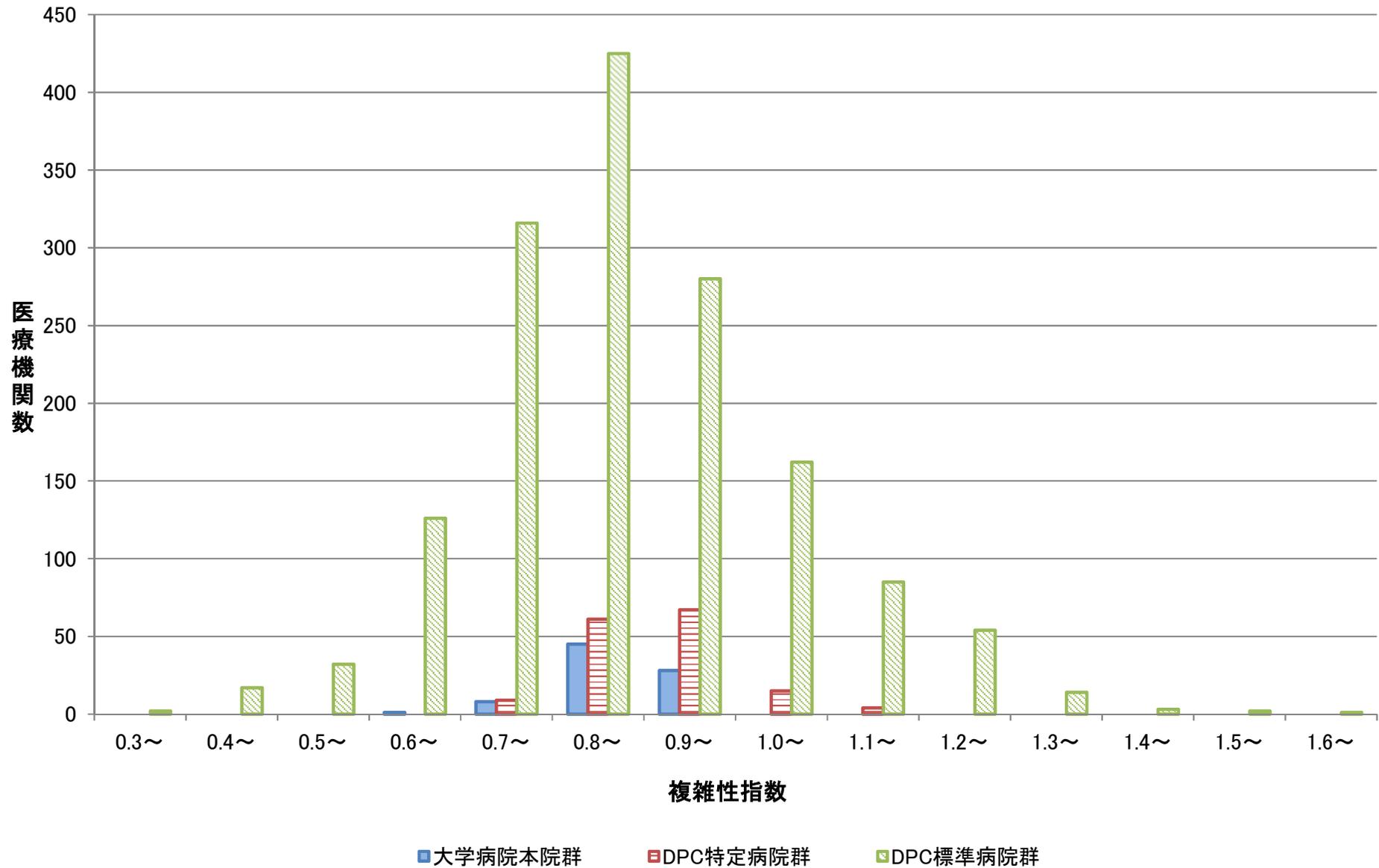
※0.1刻みで「1.2~」は「1.2以上1.3未満の区分」を表す

# 効率性係数の分布(全病院)



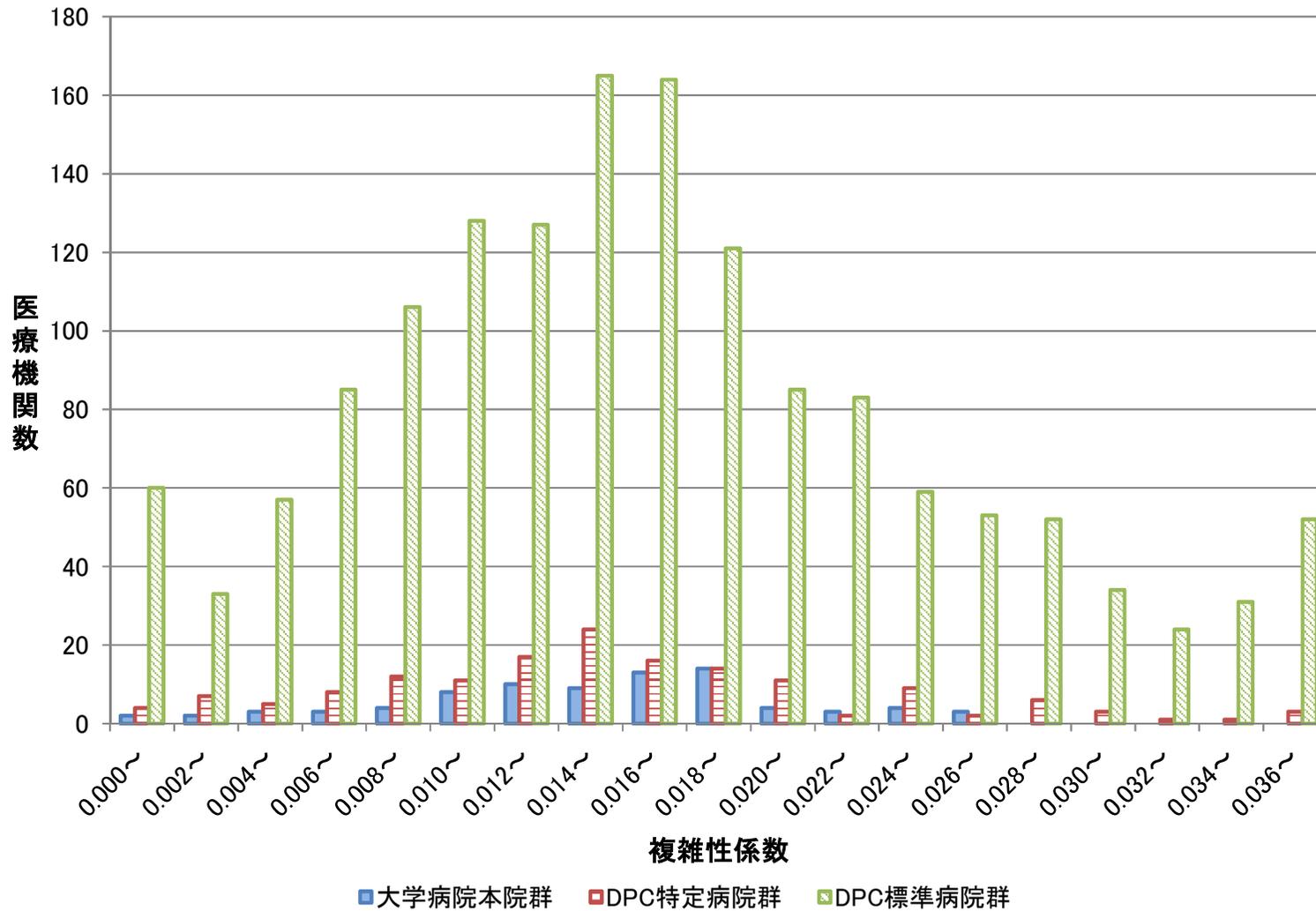
※0.002刻みで「0.008～」は「0.008以上0.010未満の区分」を表す

## 複雑性指数の分布(医療機関群別)



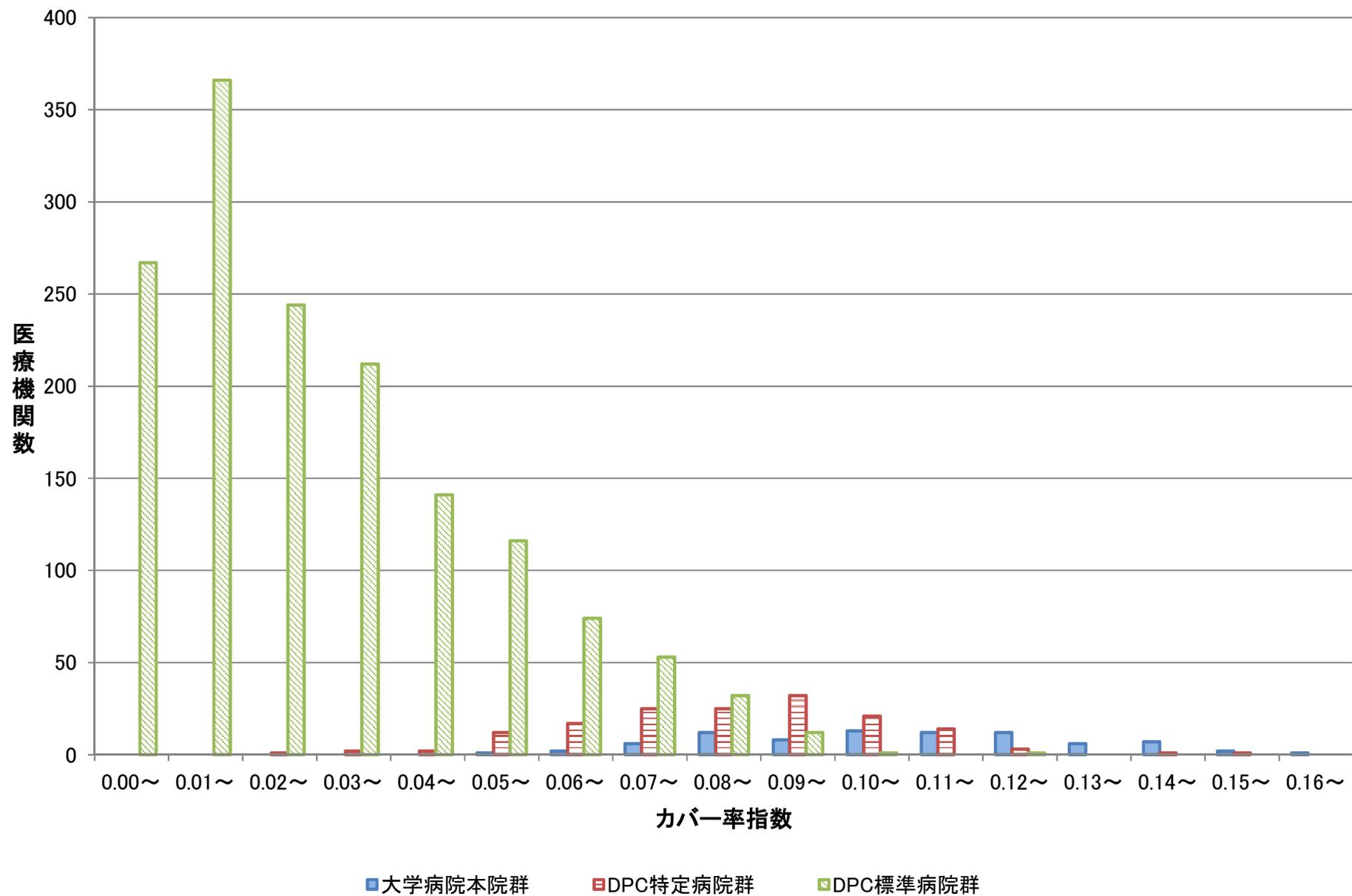
※0.1刻みで「1.2~」は「1.2以上1.3未満の区分」を表す

## 複雑性係数の分布(医療機関群別)



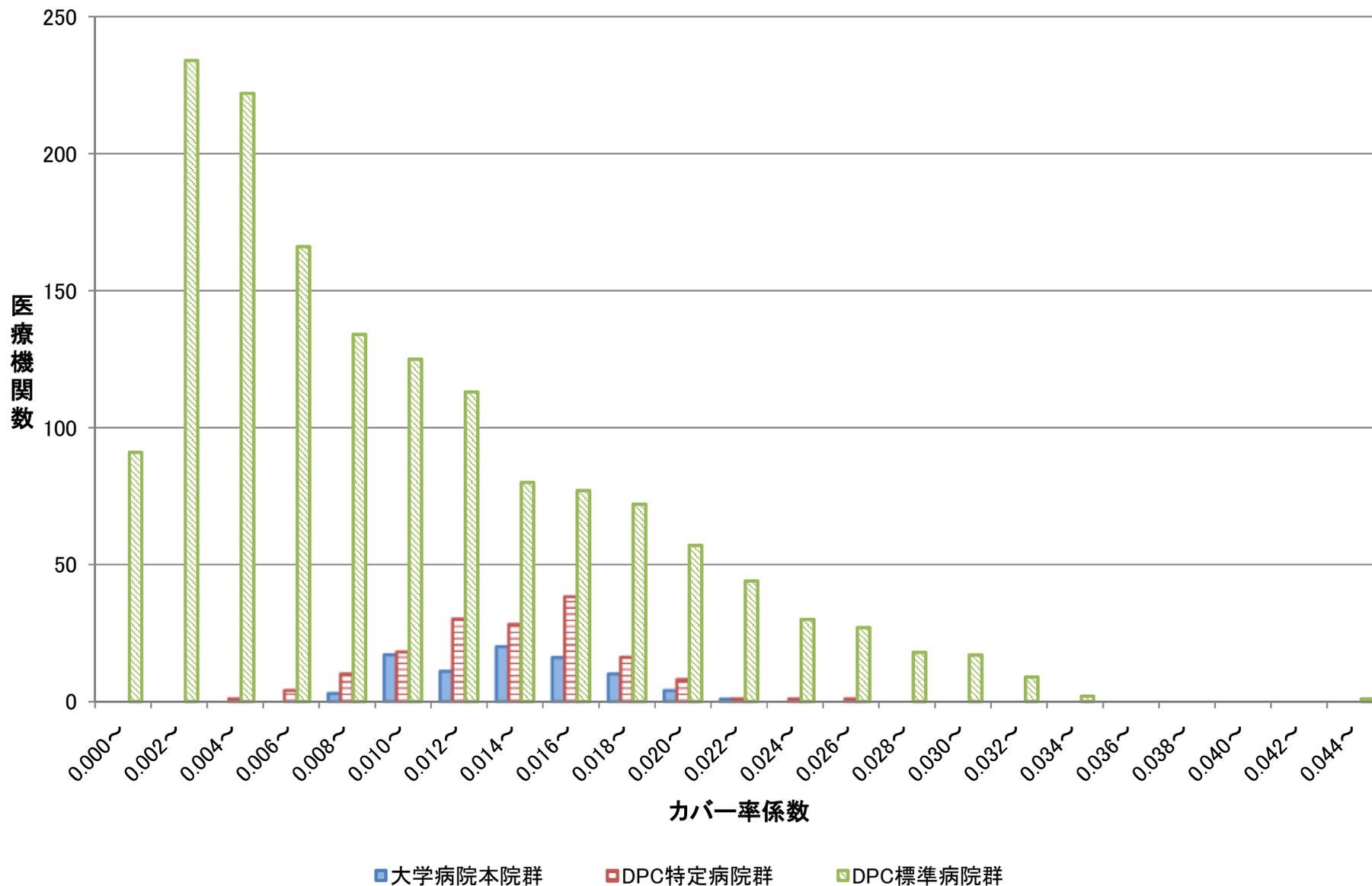
※0.002刻みで「0.008~」は「0.008以上0.010未満の区分」を表す

## カバー率指数の分布(医療機関群別)



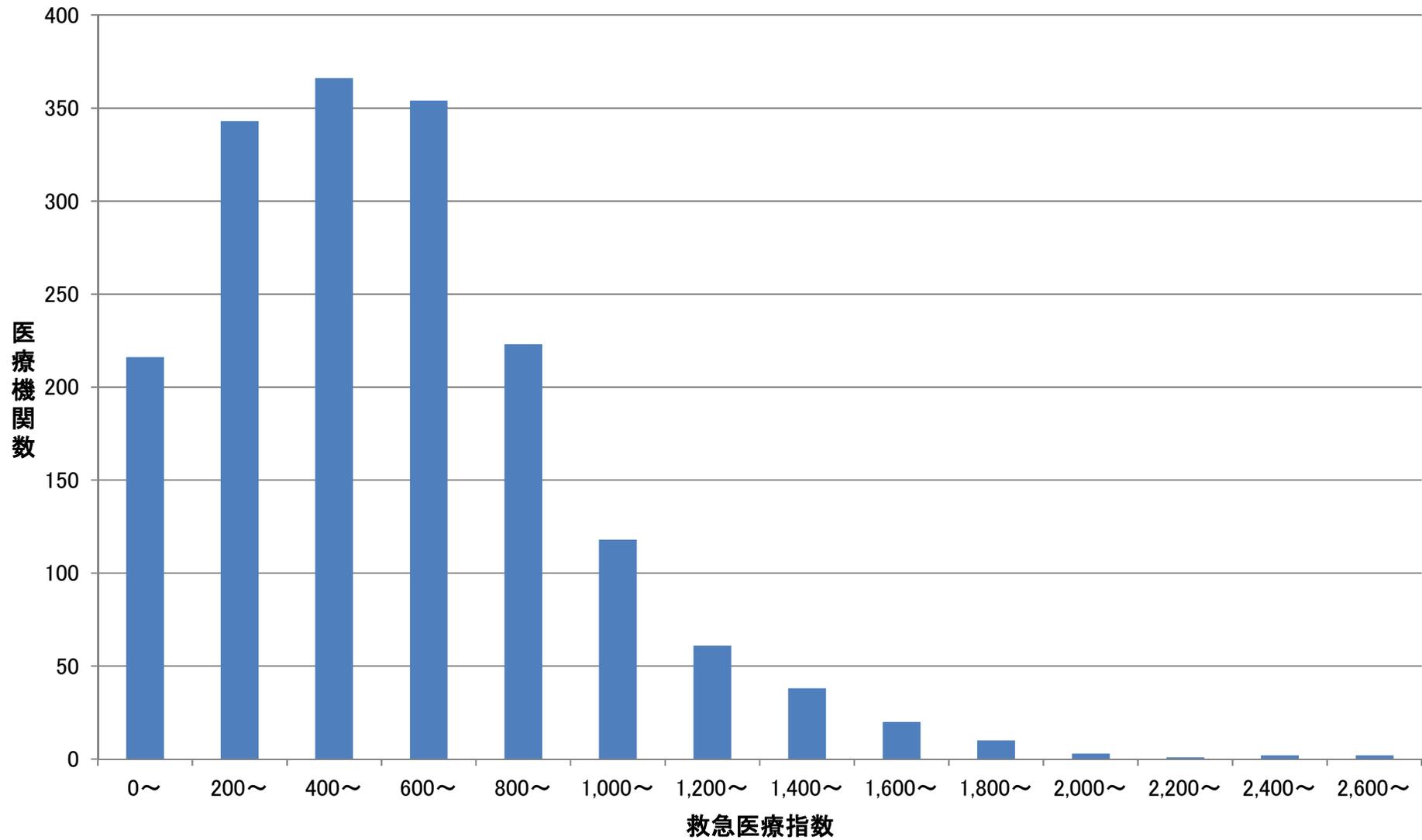
※0.01刻みで「0.12～」は「0.12以上0.13未満の区分」を表す

# カバー率係数の分布(医療機関群別)



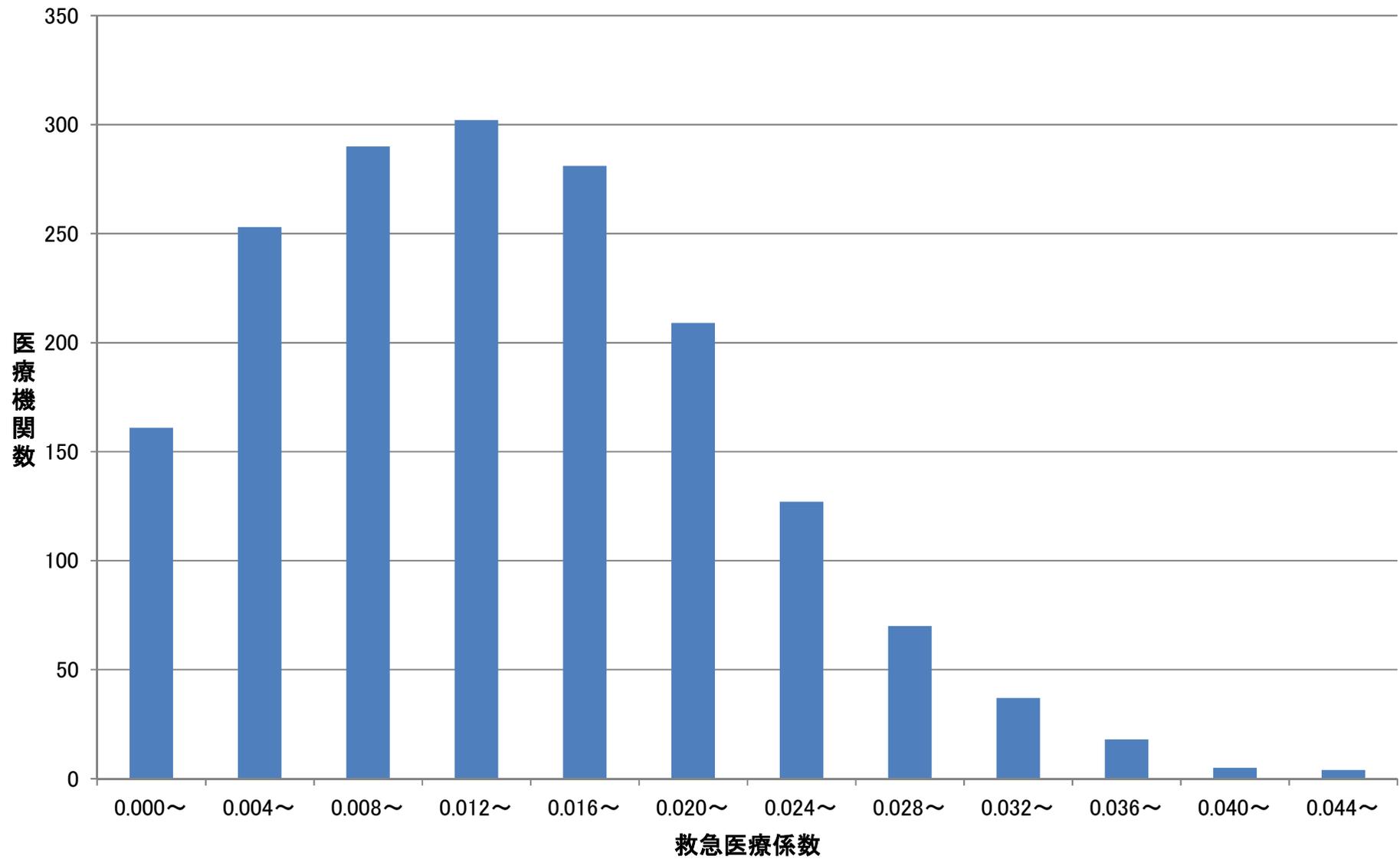
※0.002刻みで「0.008～」は「0.008以上0.010未満の区分」を表す

## 救急医療指数の分布(全病院)



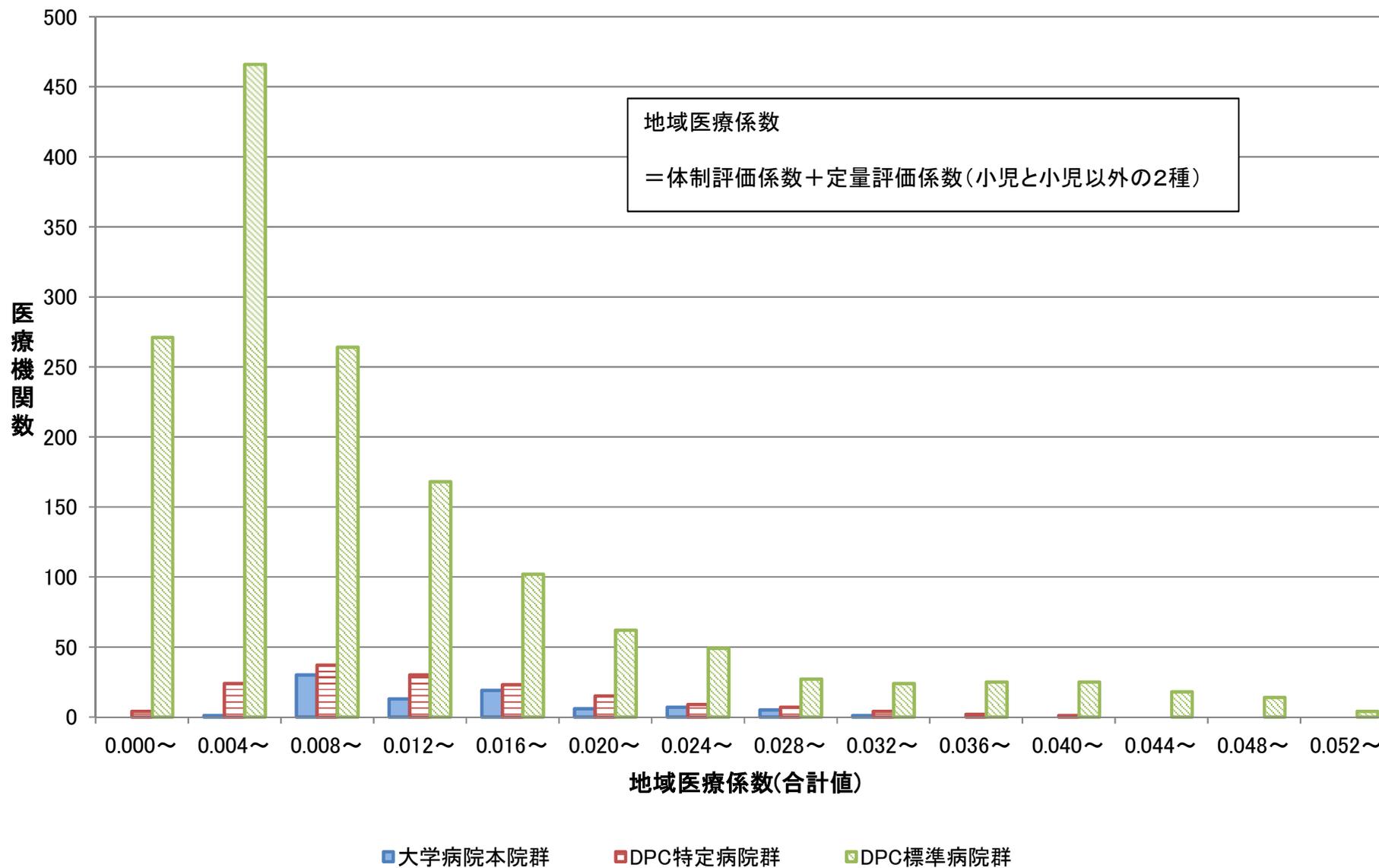
※200点/症例刻みで「800～」は「800点/症例以上1000点/症例未満の区分」を表す

## 救急医療係数の分布(全病院)



※0.004刻みで「0.008～」は「0.008以上0.012未満の区分」を表す

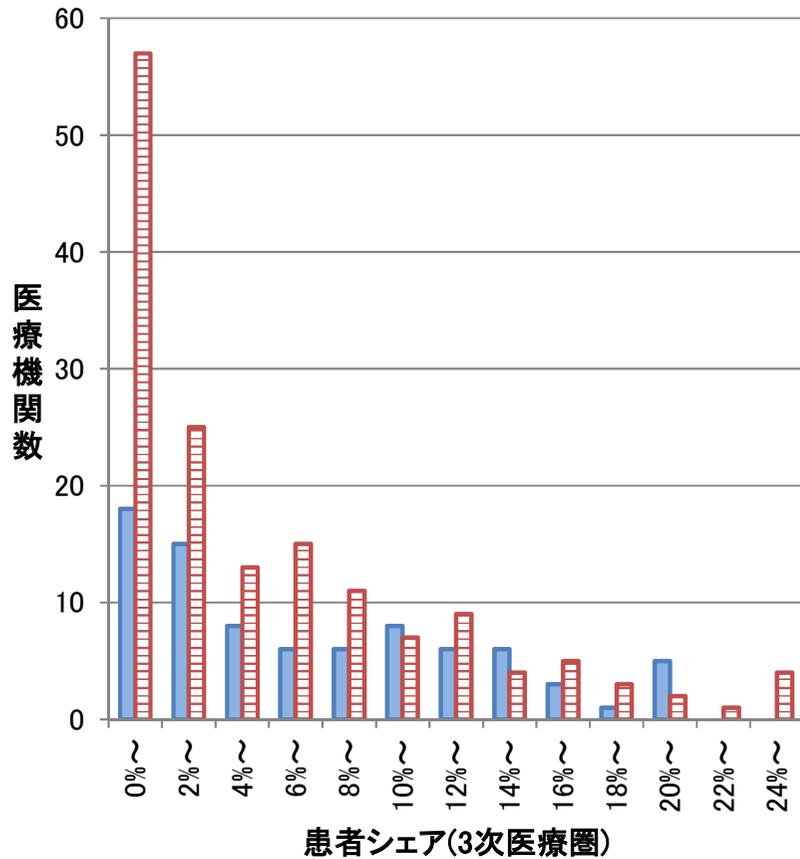
## 地域医療係数の分布(合計値)



※0.004刻みで「0.008～」は「0.008以上0.012未満の区分」を表す

# 地域医療指数・定量評価指数の分布(大学病院本院群・DPC特定病院群)

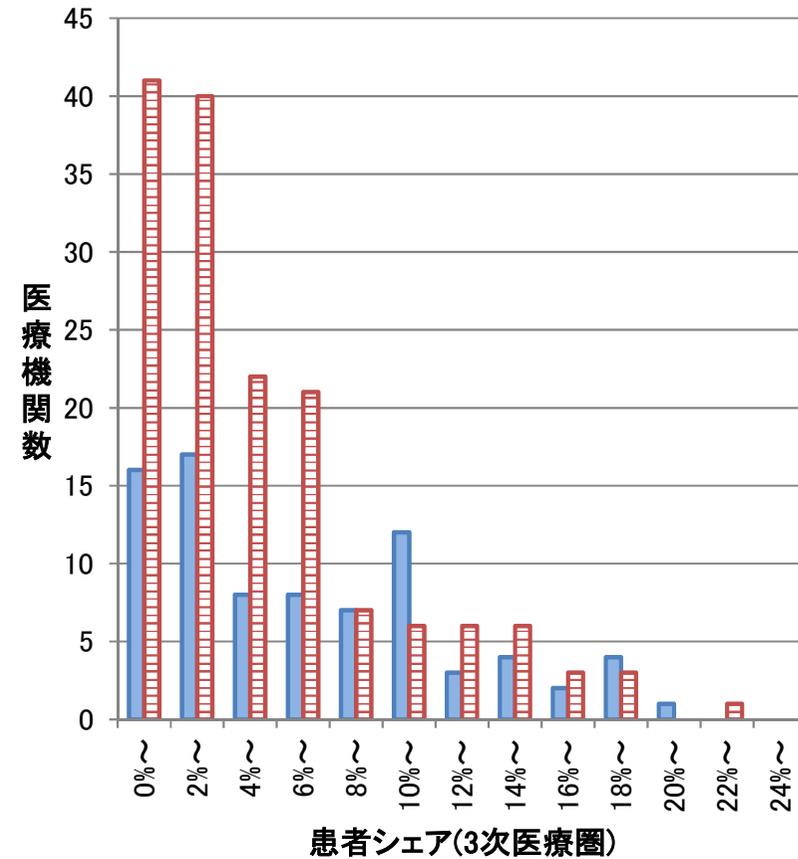
## 小児(15歳未満)



■大学病院本院群 ■DPC特定病院群

大学病院本院群・DPC特定病院群は、3次医療圏における患者シェアで評価

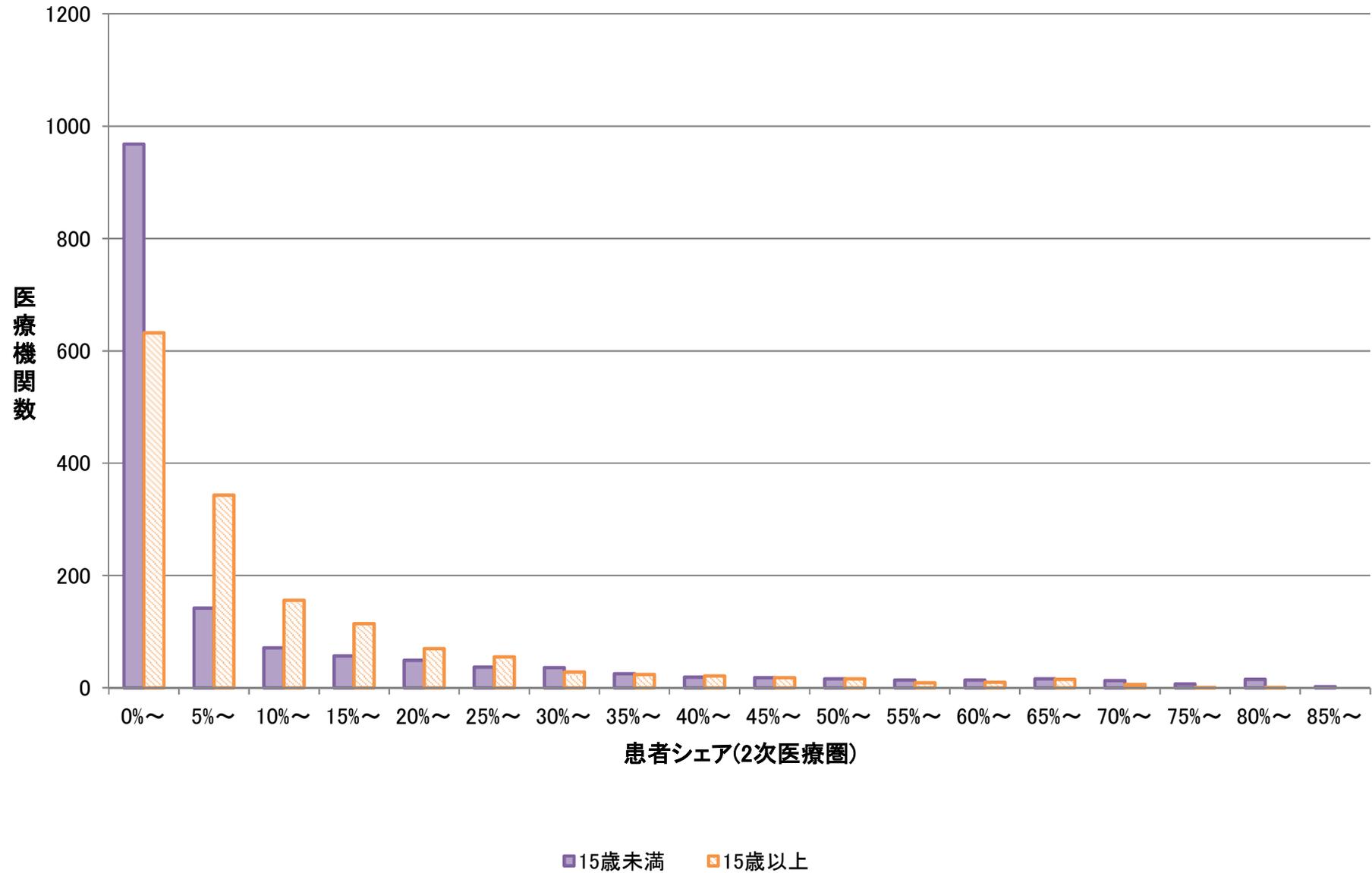
## 15歳以上



■大学病院本院群 ■DPC特定病院群

※2%刻みで「10%～」は「10%以上12%未満の区分」を表す

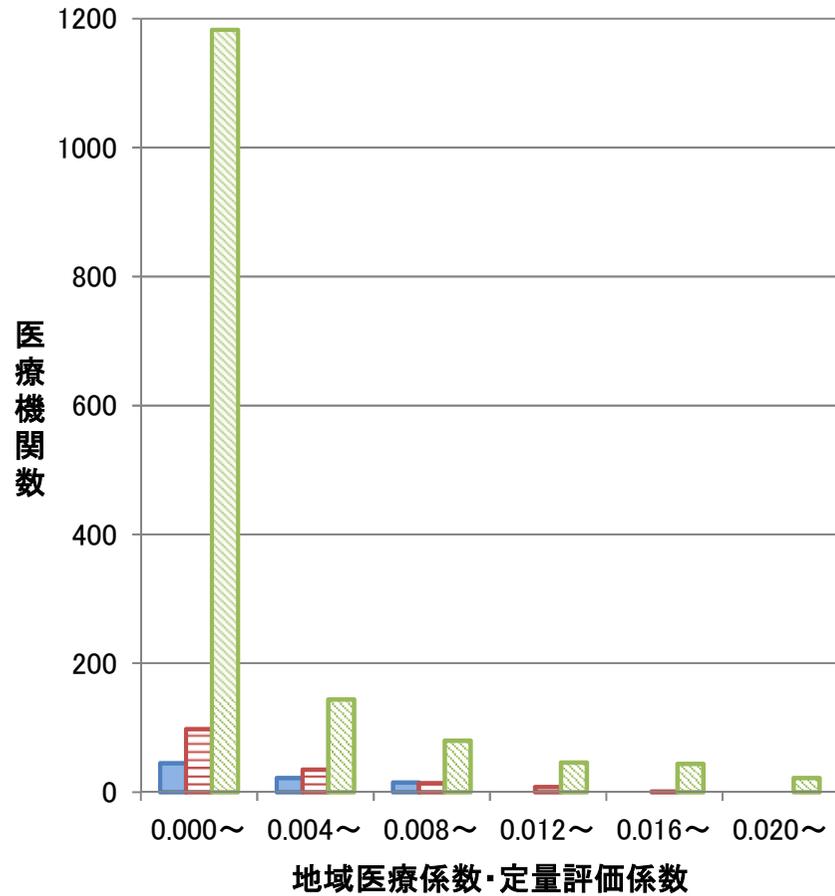
## 地域医療指数・定量評価指数の分布(DPC標準病院群)



※5%刻みで「30%～」は「30%以上35%未満の区分」を表す

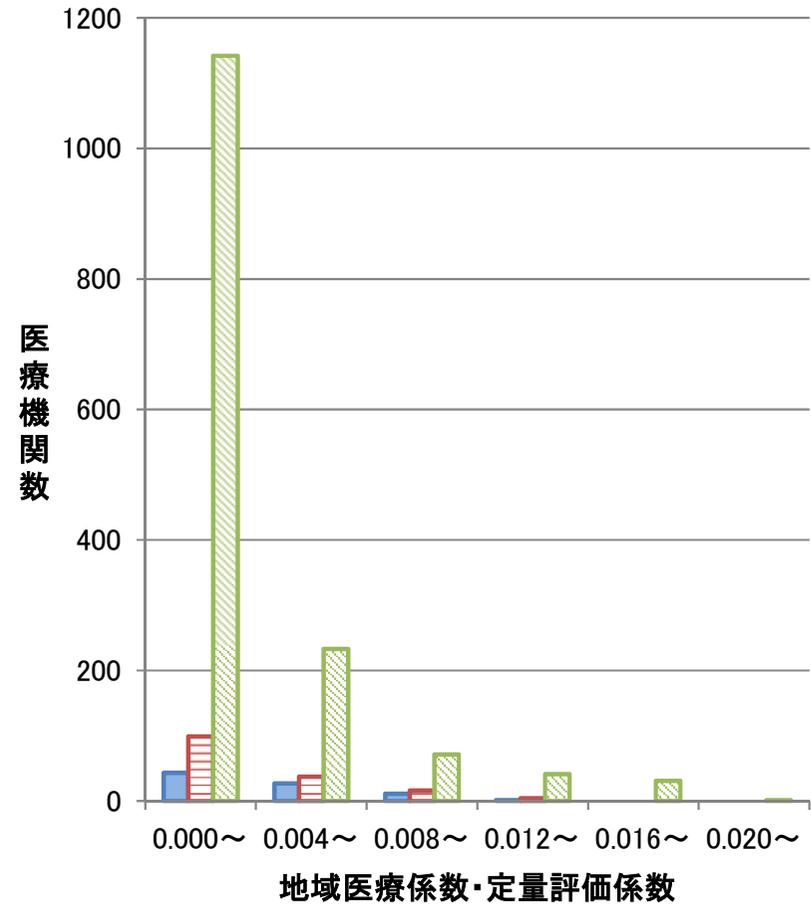
## 地域医療係数・定量評価係数の分布(医療機関群別)

### 小児(15歳未満)



■大学病院本院群 ■DPC特定病院群 ■DPC標準病院群

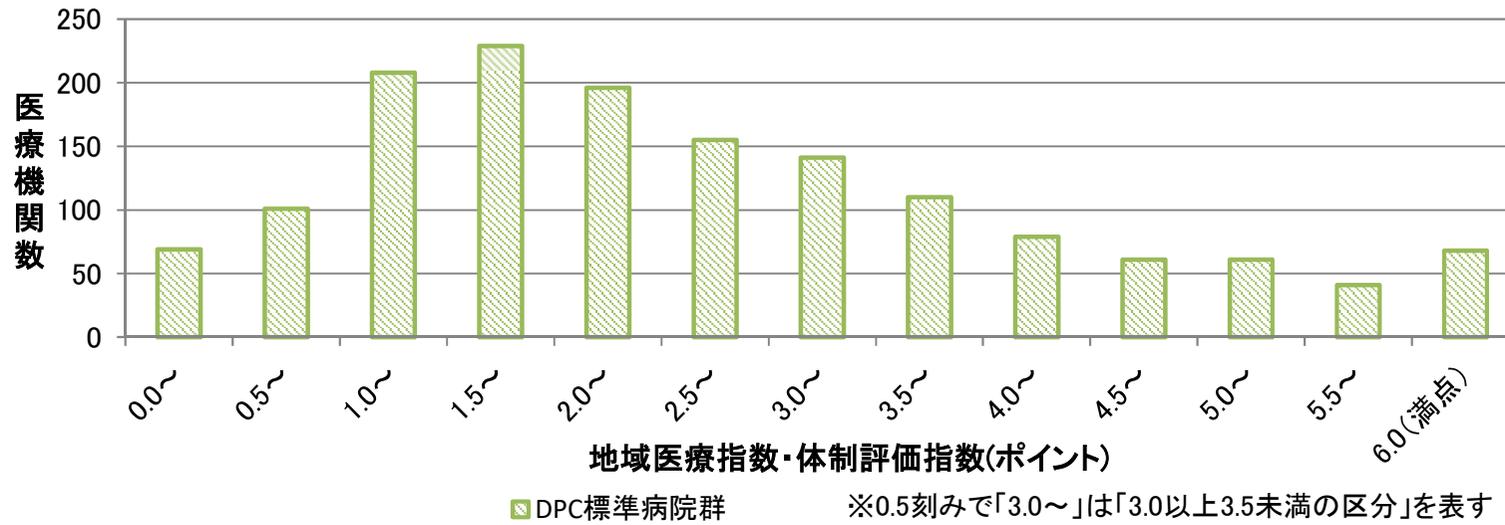
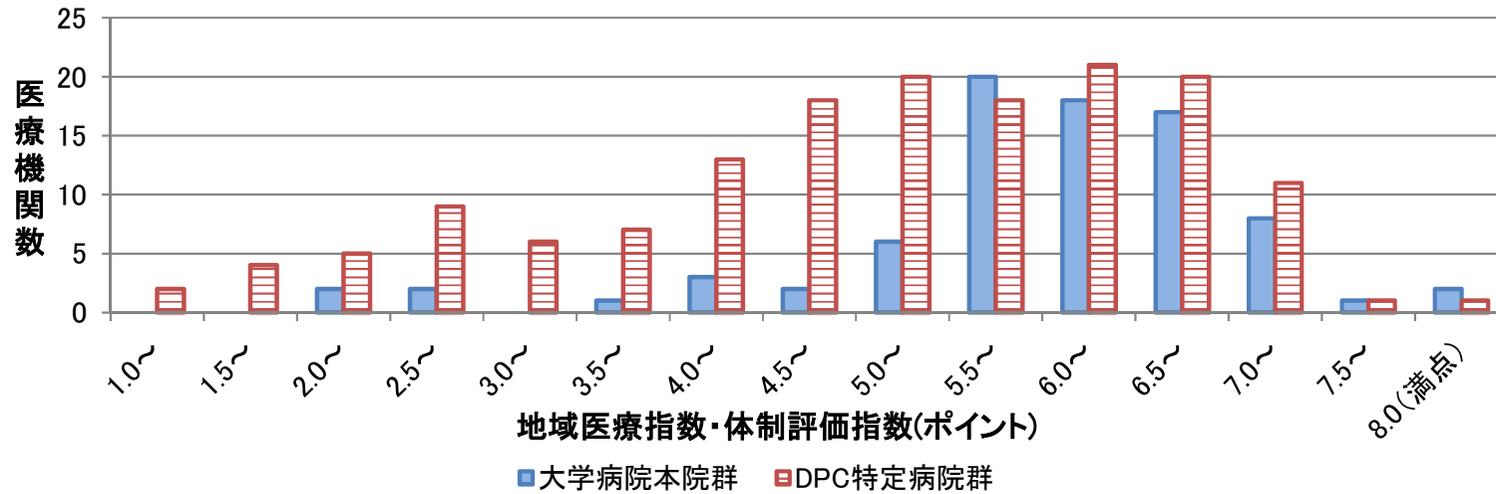
### 15歳以上



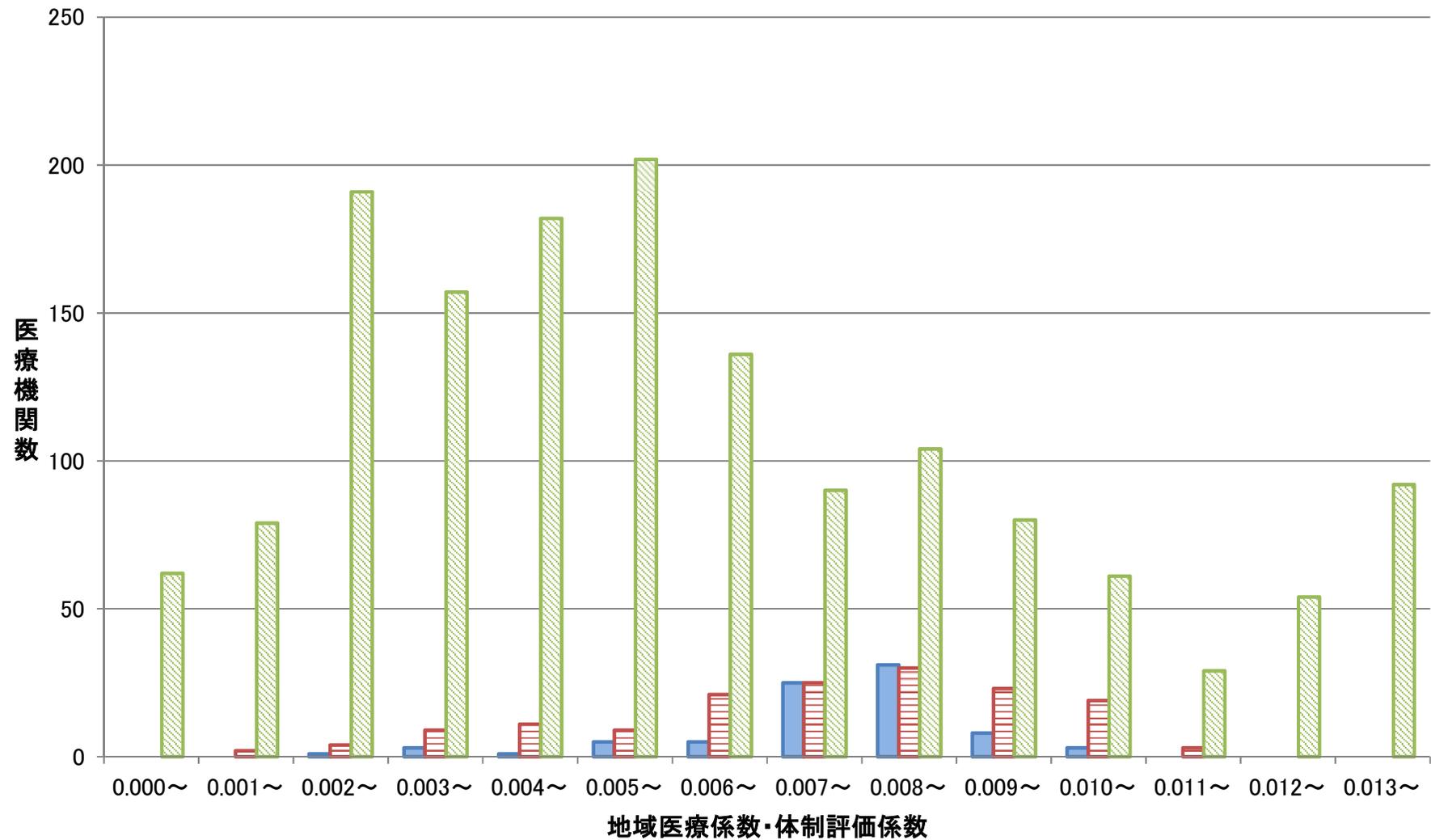
■大学病院本院群 ■DPC特定病院群 ■DPC標準病院群

※0.004刻みで「0.008～」は「0.008以上0.012未満の区分」を表す

## 地域医療指数・体制評価指数の分布(医療機関群別)



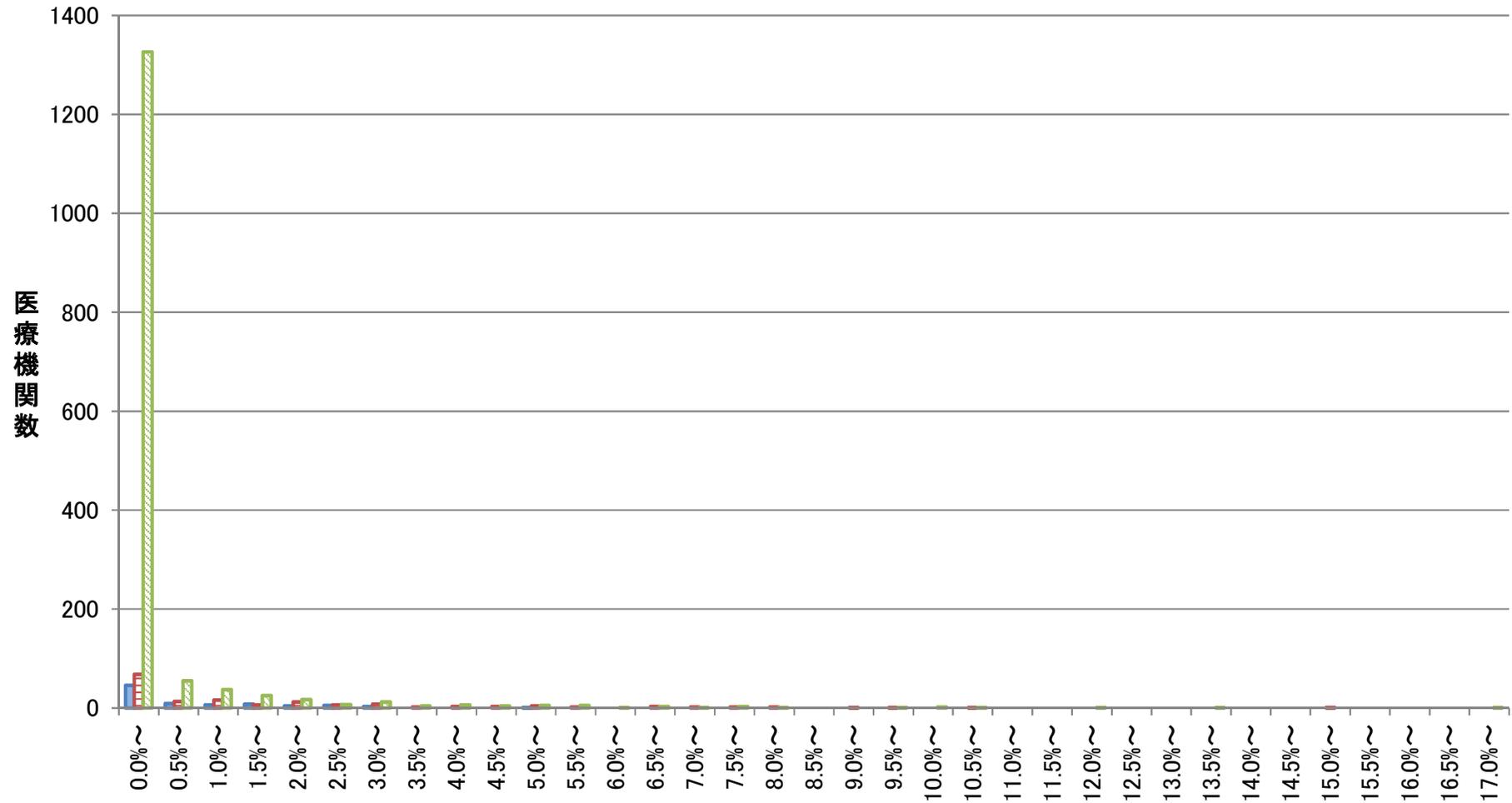
## 地域医療係数・体制評価係数の分布(医療機関群別)



■ 大学病院本院群    ■ DPC特定病院群    ■ DPC標準病院群

※0.001刻みで「0.003～」は「0.003以上0.004未満の区分」を表す

# がん地域連携

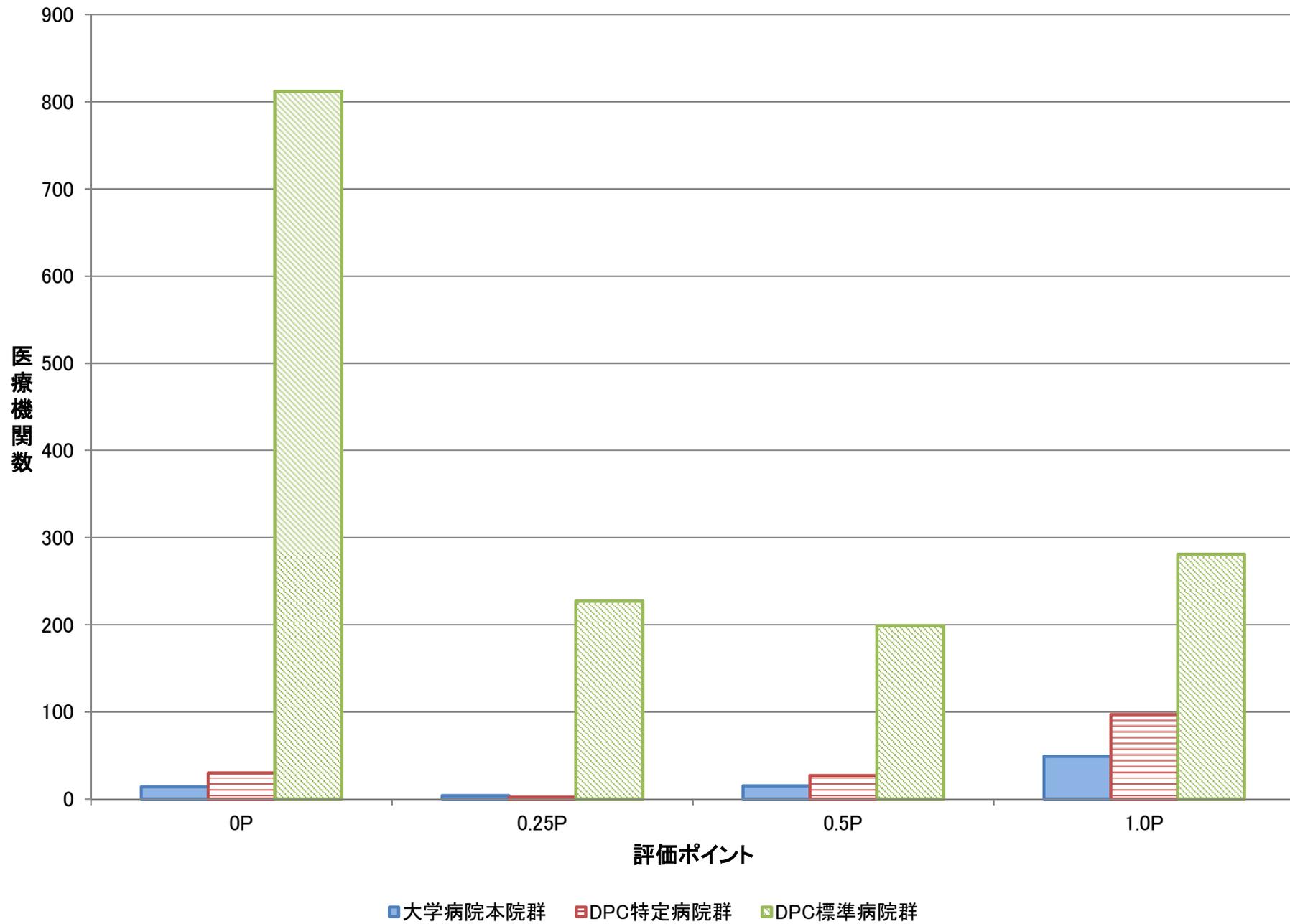


(「B005-6がん治療連携計画策定料」を算定した患者数)/(医療資源病名が悪性腫瘍に関連する病名である患者数)

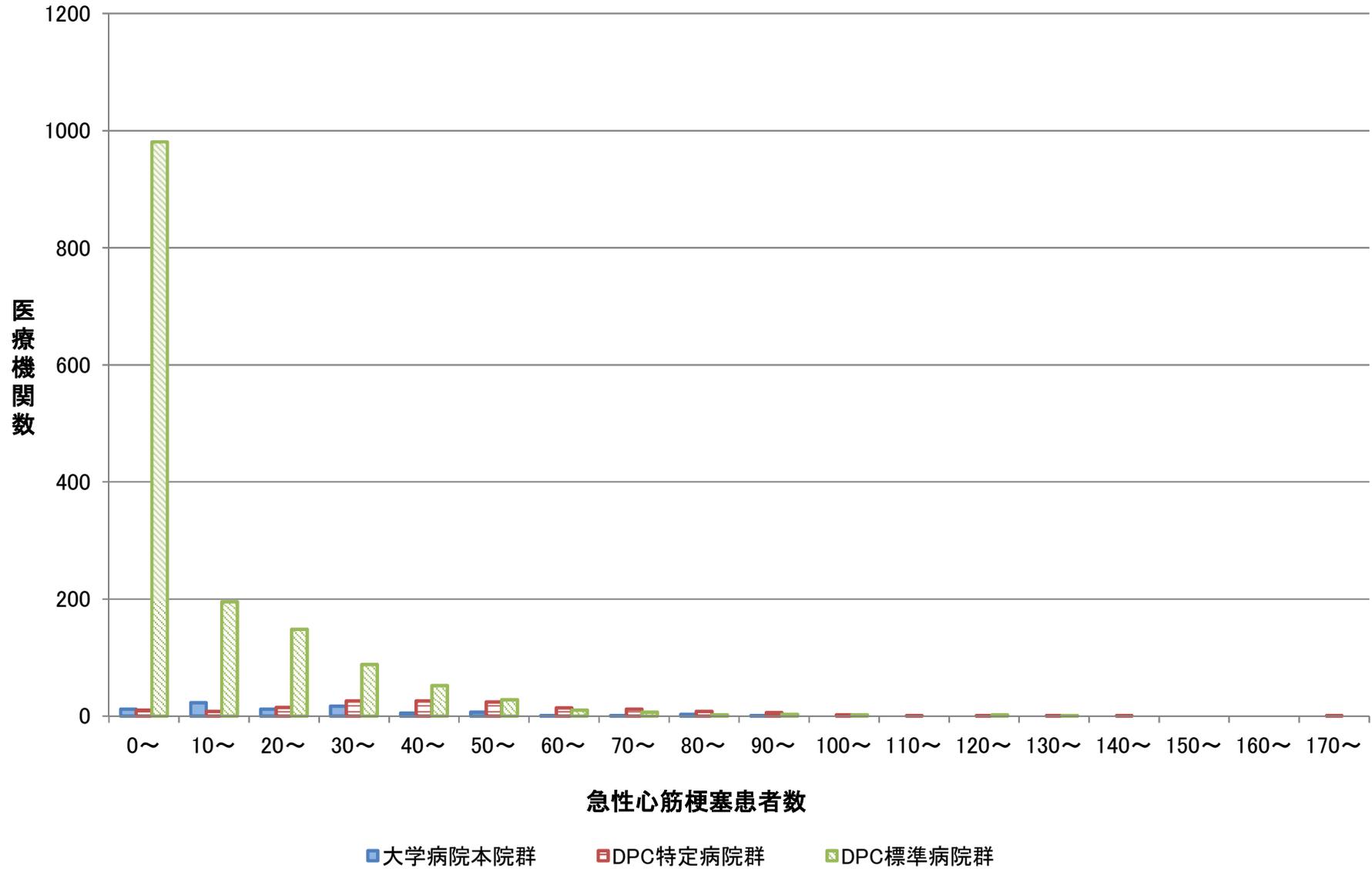
■ 大学病院本院群      ■ DPC特定病院群      ■ DPC標準病院群

※0.5%刻みで「3.0%～」は「3.0%以上3.5%未満の区分」を表す

# 脳卒中の急性期の診療実績への評価

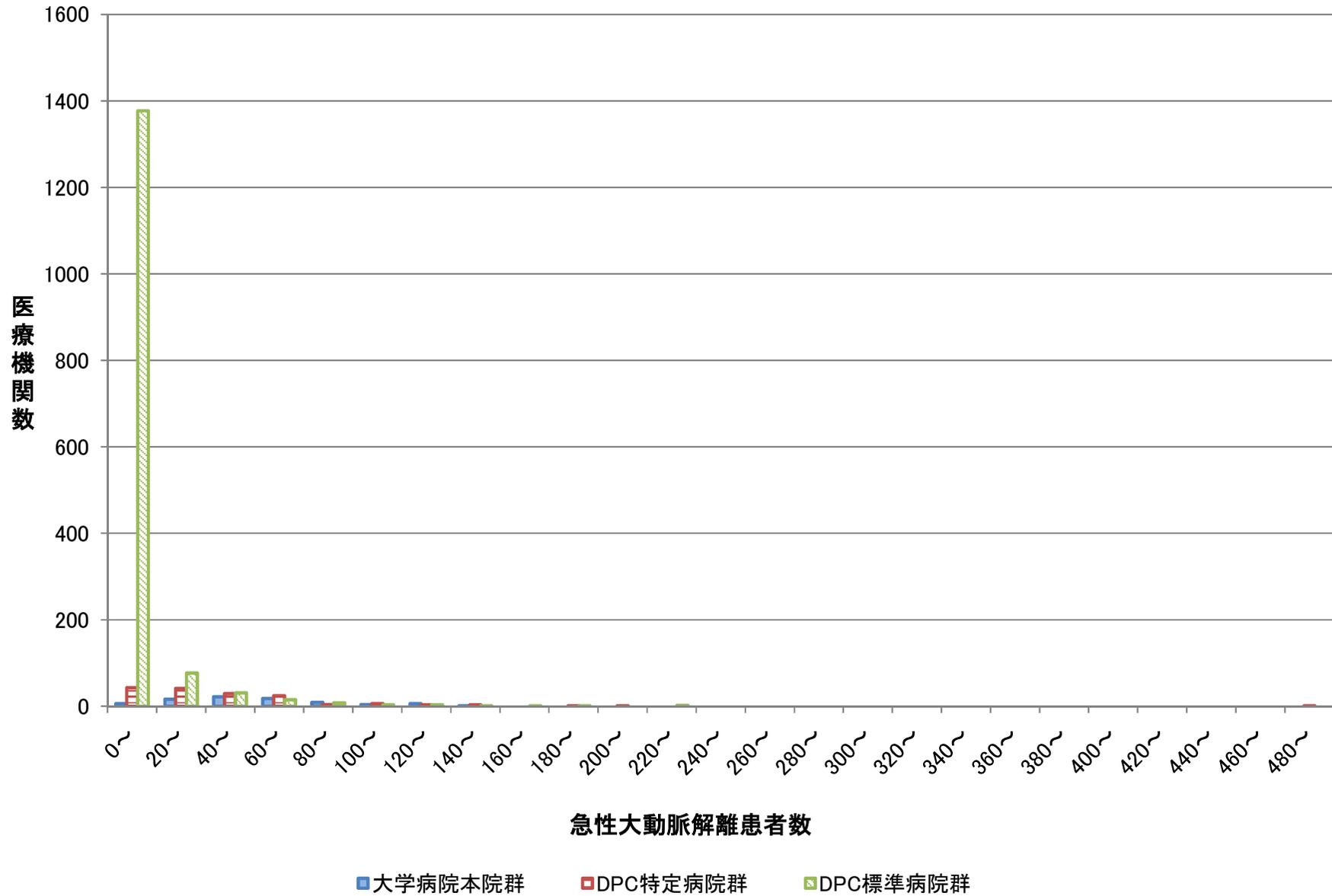


# 急性心筋梗塞



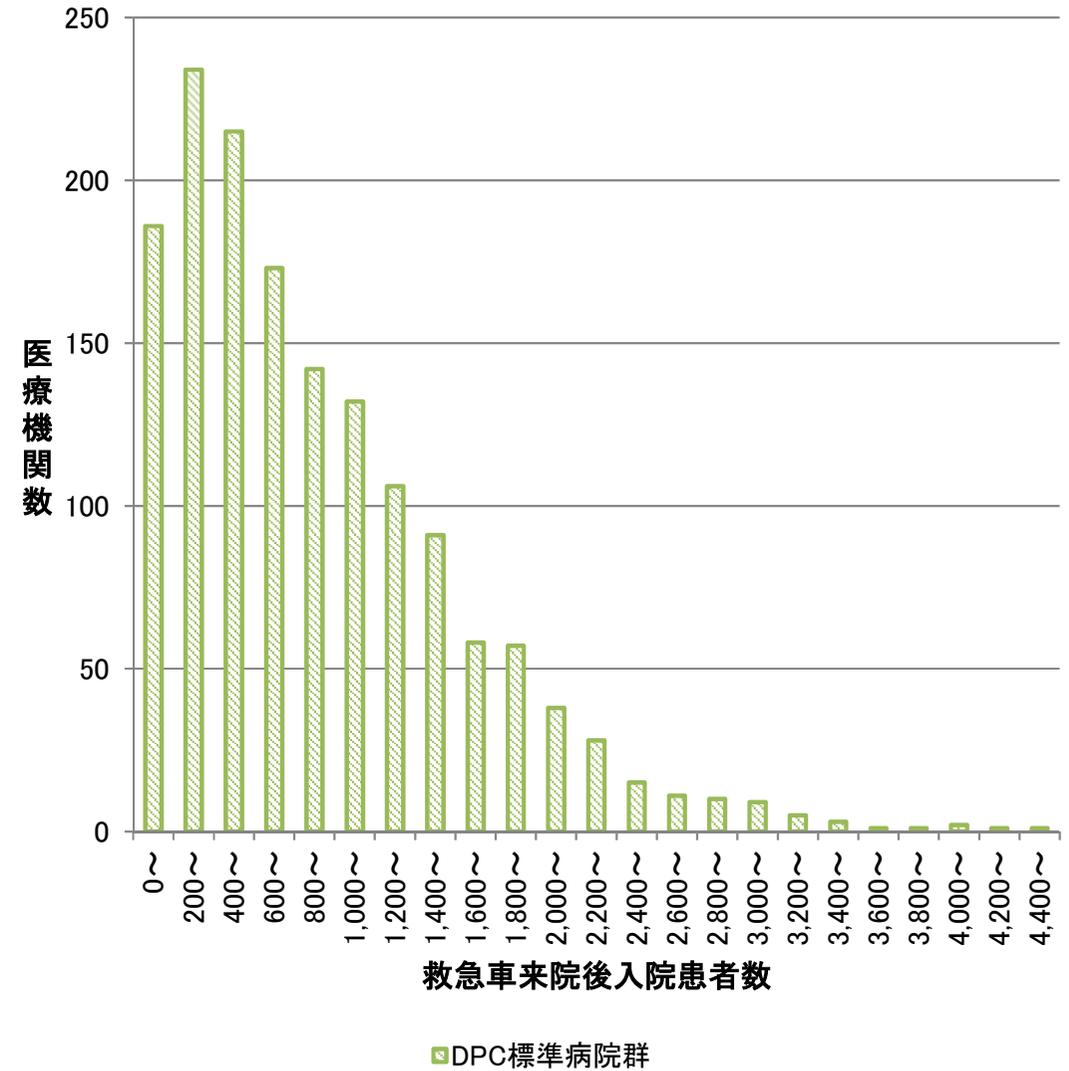
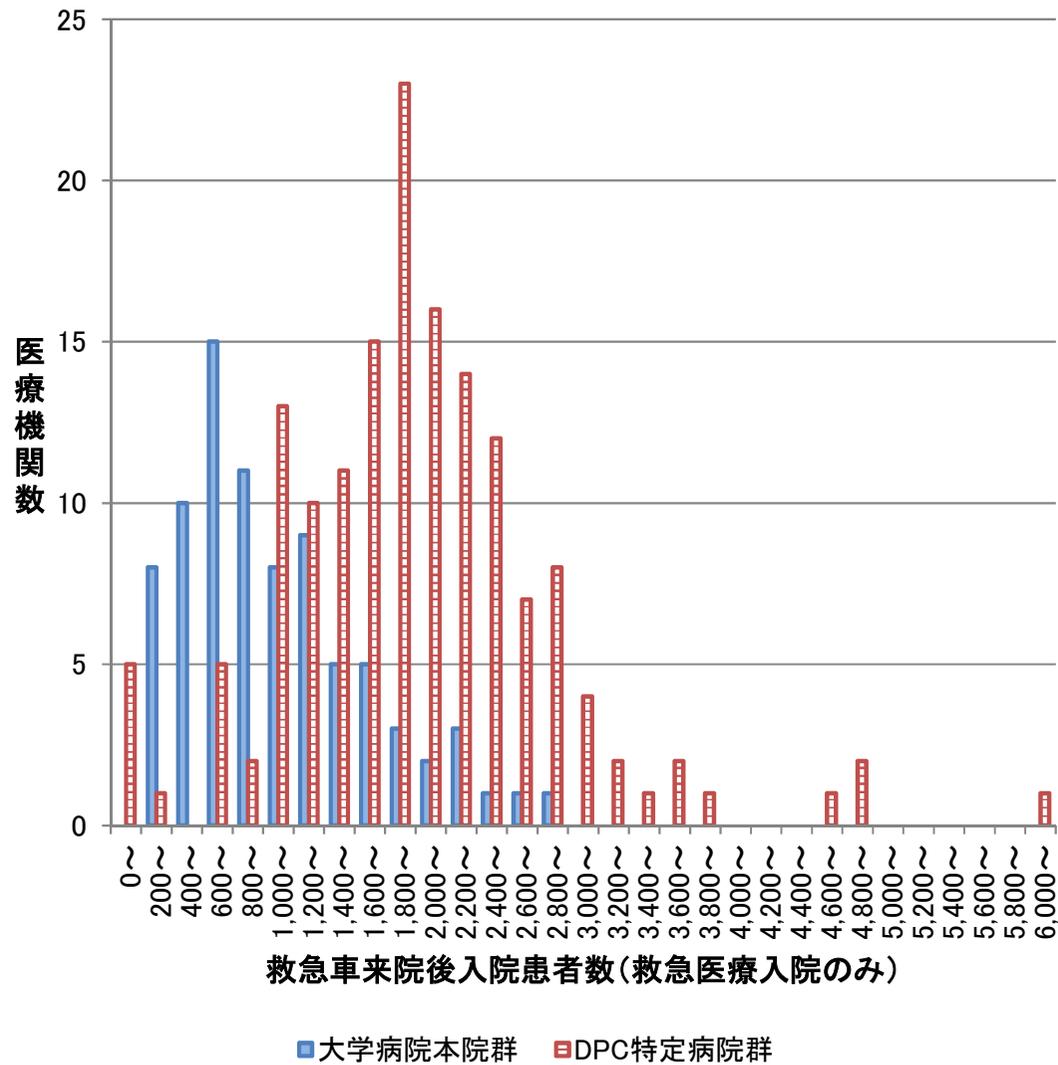
※10刻みで「50～」は「50以上60未満の区分」を表す

# 急性大動脈解離



※20刻みで「60～」は「60以上80未満の区分」を表す

## 地域医療体制評価・救急医療（救急車来院後入院患者数）



※200刻みで「400～」は「400以上600未満の区分」を表す